

# 活動プログラム資料

海洋活動



令和5年度版

チャレンジラリー



黒はんぺん



ビーズアート



キャンプファイヤー



静岡県立焼津青少年の家

## 目 次

項 目	ページ	直接 指導	団体 指導	備考
<b>【屋外プログラム】</b>				
海洋活動（カヌー漕艇）	1	○		
サイクリング	3		○	
大漁ハイク	7		○	
ウォークラリー	11		○	
宝探し（焼青ビンゴ）	17		○	
チャレンジラリー	20		○	
海釣り	25		○	
<b>【屋内プログラム】</b>				
創作活動一覧	30			
・黒はんぺん	31	○		
・七宝焼	32	○		
・ビーズアート	34		○	
・ロープなべしき	35		○	
・ロープストラップ	36		○	
・ひも人形	37		○	
・切り絵	38		○	
・プラバン	39		○	
・紙フリスビー	40		○	
・石のデザイン	41		○	
・松ぼっくりフィッシュ	42		○	
レクリエーション	43	○		
<b>【ファイヤープログラム】</b>				
ファイヤープログラム	44			
・キャンプファイヤー	45		○	
・キャンドルファイヤー	47		○	
展開例(キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー)	48			
<b>【軽スポーツ】</b>				
軽スポーツ一覧	50			団体指導者による 監視が必要
<b>【資料】</b>				
屋外活動を指導する方へ	51			
屋外活動実施予定表	53			

直接指導 … 所員が研修生に直接指導する。

団体指導 … 団体指導者が研修生に指導する。所員が団体指導者に対し、活動前に説明します。

# 海洋活動（カヌー漕艇）

【活動可能人数：180人程度】

【活動時間（めやす）：3時間】

活動紹介動画



## 1 ねらい（めあて）

### （1）【自然（海）を感じよう】

- ・波、風、潮、生物、人との関わり、美しさ、厳しさなどを五感を通して感じ取る。
- ・海から、街の様子を眺める。（普段とは違う視点で風景を捉える。）

### （2）【力を合わせよう】

- ・協力する大切さ、すばらしさ、尊さを学ぶ。

### （3）【あきらめないで最後まで】

- ・忍耐力、根気強さ、達成感を味わう。

※ねらいについては、団体の活動目的に関連付け明確にしておくこと、より良い体験となる。  
単なる遊びにならないよう動機付けをするとよい。

## 2 活動できる年齢

- ・満年齢3歳以上

※3歳から就学前の幼児が乗船する場合は、3歳から就学前の幼児1人に対して1人以上の大人（団体指導者・保護者等）が付き添うこと。

※小学1～3年生が乗船する場合は、小学1～3年生2人に対して1人以上の大人（団体指導者・保護者等）が同乗すること。

## 3 活動できる期間 4月1日から10月31日までの7か月間

## 4 カヌーの乗船人数（保有数8艇）

- ・1艇8座席（中学生以上は最大8人まで、小学生は1座席を2人掛けにして最大16人の乗船が可能）※1座席の横幅は約58cm
- ・8座席とは別に、最後尾の座席には、艇長（本所海洋指導員）が乗船し、舵取りを行う。







# サイクリング

【活動可能人数：40人程度】

【活動時間（めやす）：1～3時間】

## 1 ねらい

- ・駿河湾、富士山のダイナミックな風景をバックに、潮風を肌で感じながら仲間とともに走る爽快感を味わう。
- ・コース途上のさまざまな施設を利用し、楽しんだり学んだりする。

## 2 特長

- ・自動車が進入できない防波堤上（藤守水門、大井川港付近を除く）を走行するため安全性が高い。
- ・コース上の要所に公衆トイレがある。
- ・大人用（26インチ）、子供用（22インチ）の各種自転車が利用できる。

## 3 コース

番号	コース名	道のり (片道)	所要時間 (片道)	マップ 位置	コースの特徴
①	ディスカバリーパーク焼津コース	約 2.5 km	約 15 分	A	天文科学館、屋内温水プール、健康遊歩道等の施設があり、各種体験活動ができる。
②	ふじもりすいもん 藤守水門コース	約 5.0 km	約 30 分	B	大正初期まで藤守川河口港だった。
③	海岸遊歩道コース	約 6.5 km	約 40 分	C	松林の中に全長 1.2 km の遊歩道がある。
④	大井川港コース	約 8.0 km	約 60 分	D	貨物船や荷役のための港湾施設が見られ、漁港である焼津港とは違った趣がある。

※大井川港付近は一部未舗装で路面が悪い部分がある。  
※夜間の自転車利用はできない。

## 4 貸出し自転車台数

大人用自転車（26インチ）… 約 40 台

子供用自転車（22インチ）… 約 30 台

※ヘルメットは各自転車に備え付け有。自転車はいずれもサドルの上げ下げによりサイズ調整可能。

## 5 計画・実施上の留意点

### (1) 計画上の留意点

- ・静岡県では自転車保険への加入が義務化されているため、サイクリングをする際は、**自転車損害賠償保険等への加入を確認する。**
- ・自転車の出し入れや乗車前点検、整備に時間がかかることを考えてコース設定やスケジュールを組む必要がある。（昼食を弁当とし、コース途上でとることは可能）
- ・藤守水門、大井川港付近では一般道を走行する。また海岸では工事が行われている箇所があり、サイクリングコースの状況も刻々と変化することが予想される。**団体指導者は事前の下見と団体指導者同士の連絡方法の確認など、安全対策を行う必要がある。**

### (2) 活動の流れ

- ①団体指導者は、午前の活動の場合は午前 8 時 35 分、午後の活動の場合は午後 0 時 30 分に事務室前で担当所員と実施判断を行う。
- ②団体指導者はサイクリング用マップ（コース、避難場所等の詳細）を事務室にて受け取る。
- ③団体指導者は、研修生へねらいや安全に関する注意事項等の説明をする。
- ④活動は P 5 の「自転車利用団体指導者の皆様へ」を参考に活動を行う。

### (3) 活動上の留意点

- ・サイクリングをする際はヘルメットを着用する。（改正道交法 令和 5 年度 4 月 1 日施行）
- ・コースの途中にトイレがあるが、トイレトペーパーがない場合もあるため、各団体で持参するとよい。（トイレの場所はサイクリングエリアマップ参照）

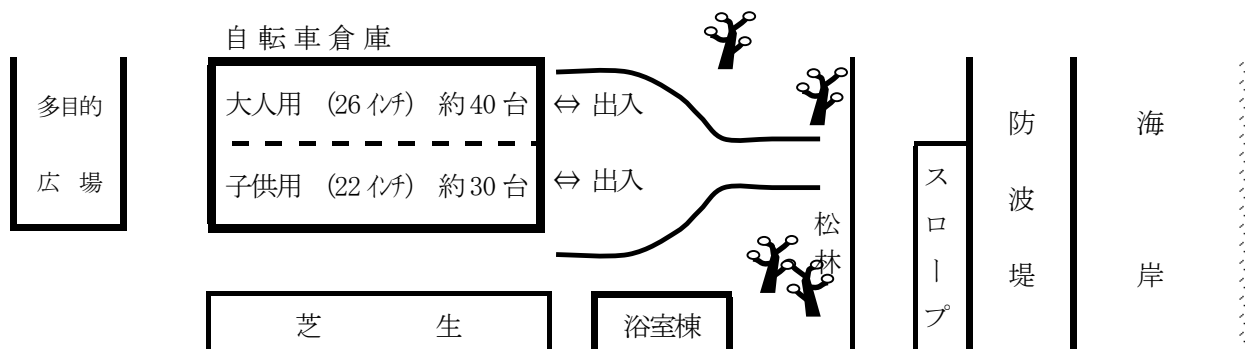


# 自転車利用団体指導者の皆様へ(サイクリング実施上の注意事項)

本所の自転車は、非常に多くの皆様に御利用いただいております。いつも快適に御利用いただくために、注意していただきたいことがいくつかあります。御利用前の指導の時に、下記の注意事項を研修生に徹底してください。

## 1 自転車の出し入れ

- (1) 自転車の出し入れをする時に、かごやベルを破損することが多くあります。出す時は、まず下の段のものを引き抜き、その後、上の段のものを降ろすようにします。片付ける時は、上の段にのせてから下の段に差し込むようにします。
- (2) 利用台数が多い場合は、通路にあらかじめ自転車を出しておいた方が点検整備がしやすいです。



## 2 乗る前

- (1) 利用者の体に合ったサイズの自転車を選びます。
- (2) 点検整備を行います。
  - ①サドルの高さはよいか。→ サドル下のクイックネジをゆるめて高さを調整します。
  - ②タイヤの空気圧はよいか。→ 空気圧不足はパンクの原因。十分に空気を入れておきます。
  - ③ブレーキはきくか。車体のがたつきはないか。→ 安全な自転車に交換します。
  - ④ベルは鳴るか。→ ベルが鳴る自転車に交換します。
- (3) ヘルメットのあごひもは必ずしめます。

## 3 走行中

- (1) 海岸防波堤の片側側面は、斜面になっていて大変危険です。横に広がらないよう一列で走行します。
- (2) 多人数で走行する時には、特に前車と接触しないよう、十分車間距離をとります。
- (3) 段差、車止めがある場所や不整地、藤守川堤防～県道では、自転車から降りて進みます。
- (4) 海岸防波堤上はウォーキングコースになっているため、歩行者には十分気をつけて走行します。
- (5) スロープでは必ず降車し、自転車を押して歩きます。

## 4 乗り終わってから

- (1) 次に使う人のために、利用した自転車の汚れは雑巾等できれいにしてから返します。
- (2) 次に使う人が気持ちよく使えるように、整頓します。

## 5 緊急時の対応について

- (1) 降雨、落雷、突風等、天候が急変した場合や大地震が発生した場合は活動を中止し、最寄りの避難場所「ディスカバリーパーク焼津」「焼津市の各コミュニティー防災センター」へ避難してください。
- (2) 津波注意報・警報が発令された場合や、南海トラフ地震臨時情報（調査中）が発表された場合は、直ちに帰所または避難行動をとってください。 ※詳細は P52 活動中の項目を参照
- (3) 走行中、パンク等の自転車の不具合が出た時や緊急事態が発生した時は、青少年の家まで連絡してください。故障車については所員が回収に向かいます。

TEL 054 — 624 — 4675

- (4) 不具合（パンク等）の出た自転車は、そのまま倉庫に入れなくて青少年の家本館西側の自転車置き場に置き、事務室に連絡してください。

# サイクリング実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団 体 名				
担当者氏名				
実施予定日	年 月 日 ( )			
参加者人数	研修生	人	団体指導者	人
活動予定時間	開始時刻	:	終了時刻	:

## 1 実施予定コース (実施予定のコース名を書いてください。)

コース番号	コース名

## 2 団体指導者の配置 (人数や配置は、各団体で決めてください。)

役 割	団体指導者氏名		
帯 同			
本部待機※			
監視体制			

※ 本部待機は団体の判断で設置しなくても構いません。

## 3 コースの下見 実施確認 (あてはまるところに○をつけてください)

実施予定コースの危険箇所などを確認した。	
実施予定コースの緊急時の避難場所を確認した。	

**※ 未実施の団体は、当日までに必ず実施予定コースの下見を行ってください。**

この計画表は団体で御利用ください。(青少年の家に提出する必要はありません。)



# 大漁ハイク

【活動可能人数：制限なし】

【活動時間（めやす）：2～6時間】

活動紹介動画



## 1 大漁ハイクとは

決められた時間内に、ガイドポイント（木札）にある魚の名前をできるだけたくさん見つけてくるゲームで、スコアオリエンテーリングという競技の一つである。

## 2 ねらい

- ・地図を見ながら歩くことの楽しさを味わい、ガイドポイントやコースを話し合っ決めながら活動することによって、協調性や決断力を高める。
- ・地域の方に道を尋ねたり、ガイドポイントのことを聞いたりしながら歩くことによって、地域の方とのコミュニケーションを図る。
- ・魚の名前に興味をもつ。

## 3 計画・実施上の留意点

(1) 計画上の留意点（大漁ハイク実施計画表を御活用ください。）

- ・研修時間、班の数、年齢層等を考えてポイントを決定する。

※すべてのポイント（20カ所）を回ると1日かかるので、制限時間を設ける。

- ・1グループの人数は6人以下が望ましい。

- ・団体指導者の役割分担をあらかじめ決める。（③と④は、団体の判断で設けなくてもよい。）

①本部待機 ②巡回 ③帯同 ④チェックポイント

※団体指導者は「サイクリング用自転車」を使用し移動することもできる。

※団体の判断でチェックポイントを設け、点呼など安全確認を行う。

(2) 活動の流れ

①団体指導者は、午前の活動の場合は午前8時35分、午後の活動の場合は午後0時30分に事務室前で担当所員と実施判断を行う。

②道具（マップ、バインダー、スコアカード、説明用ガイドポイント木札、解答）を事務室にて受け取る。

③団体指導者は研修生へルール・注意事項等説明をする。

④全てのグループを一斉にスタートさせ、担当の団体指導者は巡回指導を行う。また、本部待機の団体指導者は本所に待機し、ゴールする研修生を待つ。

⑤全グループがゴールした後は、団体指導者が成績発表、講評等の事後指導を行う。

(3) 活動上の注意点

① 緊急時の対応、連絡方法について

- ・商店や近所の方に学校名と氏名を伝えて電話を借り、大漁ハイクマップにある「焼津青少年の家」の電話番号に連絡する。または、団体指導者の携帯電話番号を事前に教えておき、そこに連絡する。

- ・チェックポイントを団体の判断で設け、その際には、団体指導者を常置させておく。

- ・急な大雨、あるいは雷が鳴ったら、近くの商店や建物に避難させる。

- ・大漁ハイクマップの☆（黄）が津波避難施設や津波避難タワーであることを確認し、大きな地震が起きた時には、そこに避難することを指導する。

②歩き方について

- ・グループのメンバーがバラバラになることがないように、必ず一緒に行動するよう指導する。

- ・「絶対に走らない」「飛び出さないこと」「広がって歩かない」「横断歩道を利用する」などを徹底させ、交通事故にあわないよう注意させる。

- ・一般道を歩くので、「公衆道徳を守り近隣の方の迷惑になるようなことをしない」「公共施設や樹木を傷つけない」などを徹底させる。

③その他

- ・大漁ハイクマップは、あくまでも略図であることを認識させる。

#### 4 方法とルール

グループごとの『さかな点』と『タイム点』の合計によって競う。

- (1) 『さかな点』は、各ガイドポイントの裏に書かれている魚の名前をスコアカードに記入することで得点になる。(青少年の家から遠いポイントほど高得点)

<ガイドポイントにある木札>



- (2) 『タイム点』は、制限時間とかかった時間との差によって得点が決まる。(制限時間は、団体指導者が決定)

#### スコアカード

大 漁 ハ イ ク

年 月 日 ( ) 団体名 [                      ] [      ] 班

① さかな点

No.	さかな	点	No.	さかな	点
1			11		
2			12		
3			13		
4			14		
5			15		
6			16		
7			17		
8			18		
9			19		
10			20		
計			計		

② タイム点

(出発)   :     :   (到着)

(リミット)   :   ちがい   :   (かかった時間)

ちがい	～10分	10～20分	20～30分	30～40分	40～50分	50～60分	60分～
点	30	20	10	0	-10	-20	-30

③ 合 計      (さかな点合計)                      (タイム点)                      (合計)

           +            =           

**これはサンプルです。活動の際は、A4サイズ of 用紙をお渡します。**

# 大漁ハイクマップ

北

- ① 水天宮
- ② 石津港公園
- ③ 石津中央公園
- ④ 一本松（墓地）
- ⑤ 藤枝MYFCグランド
- ⑥ 田尻北岡公会堂
- ⑦ 松原公園
- ⑧ 稻荷神社
- ⑨ 田尻北公園
- ⑩ 石津浜公園

- ⑪ 焼津青少年の家艇庫
- ⑫ 堤防上緑のテラス
- ⑬ 下小田ちびっこ広場
- ⑭ 津波避難タワー
- ⑮ 不岩院
- ⑯ 前の川公園
- ⑰ 石津岡公園
- ⑱ 北新田公会堂
- ⑲ すみれ台中央公園
- ⑳ 栄田神社

区画整理  
実施地区



このマップはサンプルです。  
活動の際は、ラミネートしたB4サイズ  
のマップを班に一つお渡しします。

- 大きな地震がおきた場合、★の津波避難施設や津波避難タワーに避難します。
- 急な大雨、雷の時には、近くのお店や建物に避難しましょう。
- ○は信号のある交差点、□は交差点の名前です。

まよった時、こまった時は  
**焼津青少年の家**  
054-624-4675

# 大漁ハイク実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名				
担当者氏名				
実施予定日	年 月 日 ( )			
参加者人数	研修生	人 ( ) グループ	団体指導者	人
活動時間	開始時刻	:	終了時刻	:

## 1 団体指導者の配置 ※人数や配置は、各団体で決めてください。

役割	団体指導者氏名		
①本部待機			
②巡回 所の自転車を利用することが できます。			
③チェックポイント 団体の判断で設けなく ても構いません。			

## 2 安全体制チェックポイント (確認・実施したものには○をつけてください)

エリアの下見、緊急時の避難場所の確認を行った。	
災害や事故、怪我や迷ったときなどの緊急時の対応方法を決め、事前に指導した。	
活動中の歩き方、交通事故防止のための安全指導を行った。	
大漁ハイクマップは、あくまでも略図であることを研修生は理解している。	
団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

**※ 未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認、実施してください。**

この計画表は団体で御利用ください。(青少年の家に提出する必要はありません。)

# ウォークラリー

【活動可能人数：1 コース 10 グループ程度】

【活動時間（めやす）：1～3時間】

活動紹介動画



## 1 ウォークラリーとは

連続したコマ図を頼りに、グループごとに指定されたコースを歩き、課題を解決したり、景色を眺めたりして歩くゲームである。

## 2 ねらい

- ・連続したコマ図だけを頼りに進むことで、決断力や判断力を育てる。また、グループでまとまって歩くことを通して協調性を高める。
- ・街中を注意深く観察しながら歩くことで、普段は気づかない街角の風景を発見する。

## 3 計画・実施上の留意点

(1) 計画上の留意点（ウォークラリー実施計画表を御活用ください。）

- ・研修時間、班の数、年齢層等を考えてコースを決定する。
- ・1グループの人数は6人以下が望ましい。
- ・コマ図の見方について、活動参加者に事前に指導しておく。
- ・団体指導者の役割分担をあらかじめ決める。（③と④については、団体の判断で設けなくてもよい。）  
①本部待機 ②巡回 ③帯同 ④チェックポイント  
※団体指導者は「サイクリング用自転車」を使用し移動することができる。

(2) 活動の流れ

- ①団体指導者は、午前の活動の場合は午前8時35分、午後の活動の場合は午後0時30分に事務室前で担当所員と実施判断を行う。
- ②道具（コマ図、バインダー、解答用紙、指導者用地図、指導者用解答用紙）を事務室にて受け取る。
- ③団体指導者は、研修生ヘルール・注意事項等の説明をする。
- ④5分～10分ほど時間差をつけて、グループごとに出発する。
- ⑤巡回担当の団体指導者は巡回をする。本部待機担当の団体指導者は本所に待機し、ゴールする研修生を玄関前等で待つ。
- ⑥全グループがゴールした後は、団体指導者が成績発表、講評等の事後指導を行う。

(3) 活動上の注意点

- ①緊急時の対応、連絡方法について
  - ・商店や近所の方に学校名と氏名を伝えて電話を借り、コマ図にある「焼津青少年の家」に連絡する。または、団体指導者の携帯電話番号を事前に教えておき、そこに連絡する。
  - ・急な大雨、あるいは雷が鳴ったら、近くの商店や建物に避難させる。
  - ・大きな地震が起きた時に、津波避難施設や津波避難タワーに避難することを事前指導しておく。
- ②歩き方について
  - ・グループのメンバーがバラバラになることがないように、必ず一緒に行動するよう指導する。
  - ・「絶対に走らない」「飛び出さない」「広がって歩かない」「横断歩道を利用する」などを徹底させ、交通事故にあわないよう注意させる。
  - ・一般道を歩くので、「公衆道徳を守り近隣の方の迷惑になるようなことをしない」「公共施設や樹木を傷つけない」などを徹底させる。
  - ・歩きながらコマ図は見ない。コマ図は、安全な場所で必ず立ち止まって見るように指導する。

#### 4 方法とルール

- コマ図の指示する方向に進み、次のコマ図の地点を探す。
- コマ図とコマ図の間にも分岐がある。距離も一定ではないが、次のコマ図の地点までは無視して進む。
- 課題のあるコースでは、協力して課題を解決しながら歩く。
- 規定時間内に歩く。（規定時間は下記の所要時間、距離を参考に団体指導者が設定する。）
- 出発はグループごと時間差をつける。（グループ数に合わせて間隔を調整する。）

#### 5 各コースの距離と所要時間

コース名	距離 [km]	所要時間 [時間] ※目安	コース難易度	問題の設定 の有無	ポイント 箇所数
あじ - いわし	3.0	1.0 ~ 1.5	わかりやすい。 広い道を多く 通る。	大漁ハイク のポイント を使用	5
かつお - かもめ	4.0	1.5 ~ 2.0			5
さば - まだい					
まぐろ - くじら	6.5	2.5			9
かじき - いるか					

※ 所要時間はあくまでも目安です。研修生の実態により若干の違いがあります。

サンプルとして、「解答用紙」「コマ図」「指導者用マップ」を載せてありますので、研修生へ事前の指導にお使いください。

# ウォークラリー解答用紙

## <〇〇〇>コース

グループ名

スタート 時 分

コマ番号	ポイント番号	魚の名前	ポイント発見のためのヒント	得点
4	⑤		サッカーグラウンド北側のガードフェンス (うっかり通りすぎ注意)	
9	⑦		西側の公園入口近くの電子基準点(大きなマイクみたいな形の機械)のそば	
12	⑥		西門のすぐ横	
19	③		大きな石碑の近く	
27	①		納札所(古いお札を納める所)	

ゴール 時 分

- ① まわりをよく見て、そのコマと同じ場所に着いたら、矢印の指示に従って進みます。
- ② コマとコマの間は、曲がったりしないで、その道をまっすぐ進みます。
- ③ コマとコマの間は同じではありません。すぐ近いときも、ものすごく遠いときもあります。
- ④ 分からなくなったら、まちがいない前のコマの場所までもどって、やり直します。
- ⑤ コマ図では道の真ん中を示していますが、道路は右側、または歩道を必ず歩きます。
- ⑥ 交通ルールを必ず守りましょう。道路を渡るときは信号があれば信号を守り、横断歩道を渡ります。
- ⑦ 急な飛び出しや大声で話したりすることは、まわりの人に迷惑になります。
- ⑧ こまったことが起きたら、近くにいる大人の人にたのんで「焼津青少年の家」に電話をします。
- ⑨ 地震が起きたときには、すぐに近くの3階建て以上の高い建物に避難します。  
コマ図の中の★印がひなん場所です。まわりの大人と一緒に避難しましょう。

これはサンプルです。  
活動の際は、A4サイズの下紙を  
班に一つお渡しします。

静岡県立焼津青少年の家 TEL054-624-4675





# ウォークラリー ○○○ (4 km) 指導者用

チェックポイント (大漁ポイント) 5カ所

- 交通ルールを守りましょう。道路は右側または歩道を歩きます。横断歩道を渡ります。
- 飛び出しをしないように気をつけましょう。車には十分気をつけましょう。
- 地震が起きたら、★印の場所にひなんしましょう。



静岡県立焼津青少年の家

TEL054-624-4675

# ウォークラリー実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名					
担当者氏名					
実施予定日	年 月 日 ( )				
参加者人数	研修生	人 ( )	グループ	団体指導者	人
スタート時刻※	一番最初のグループ	:	一番最後のグループ	:	

※ 前後のグループでは、5～10分ほど時間差をつけてスタートとなります。

## 1 実施予定コース

コース名	グループ数 等
例 かつお	例 4グループ 1班、3班、5班、7班
例 かもめ	例 4グループ 2班、4班、6班、8班

## 2 団体指導者の配置 (人数や配置は、各団体で決めてください。)

役割	団体指導者氏名		
①本部待機			
②巡回 所の自転車を利用することが できます。			
③帯同 団体の判断で設けなく ても構いません。			
④チェックポイント 団体の判断で設けなく ても構いません。			

## 3 安全体制チェックポイント (確認・実施したものには○をつけてください)

コースの下見、緊急時の避難場所の確認を行った。	
コマ図の見方について、研修生に事前に指導した。	
災害や事故、怪我や迷ったときなどの緊急時の対応方法を決め、事前に指導した。	
活動中の歩き方、交通事故防止のための安全指導を行った。	
団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

※ **未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認、実施してください。**

この計画表は団体で御利用ください。(青少年の家に提出する必要はありません。)

# 宝探し（焼青ビンゴ）

【活動可能人数：制限なし】

【活動時間（めやす）：1～2時間】

活動紹介動画



## 1 宝探しとは

エリアの中に点在する宝（ポイント）を決められた時間内に多く見つける活動である。宝（ポイント）には、数字や魚、地名が記されており、注意深く探さないと見つからないような場所に設置されている。

また、雨天時でも館内で実施することができるプログラムとなっている。

宝（ポイント）は以下のようなものがある。



松林



松林



館内

## 2 ねらい

- ・宝（ポイント）を探す活動をとおして、周囲の状況を注意深くつかむことができる。
- ・注意事項を守ることにより、安全に対する意識を高める。
- ・施設周辺での活動により、施設に慣れ、その後の落ち着いた活動につなげることができる。

## 3 人数と所要時間

- (1) 人数：1グループあたり、6人以下が望ましい。
- (2) 所要時間：1～2時間程度、活動時間に合わせてエリアを縮小することも可能。

## 4 活動場所

- ・焼津青少年の家周辺、または館内。（活動エリアは屋外と館内のいずれか）

## 5 実施方法

### 【事前】

- ・実施計画表を基に運営方法やグループを決めておく。
- ・下見を実施し、活動エリア・使用する道具の確認をする。

### 【当日】

- ・活動前に事務室前で担当所員と実施判断を行う。  
(午前の活動の場合は午前8時35分、午後の活動の場合は午後0時30分)
- ・貸出し用具（バインダー、解答用紙、エリアマップ〔屋外のみ〕、指導者用資料〔マップ、解答〕）を受け取る。

### 【活動前】

- ・団体指導者は研修生に対して、ルールと注意事項を説明し、活動を開始する。

### 【活動終了後】

- ・団体指導者は、成績発表や講評などの事後指導を行い、終了したことを所員に報告し、貸出し用具を返却する。

## 6 計画・実施上の留意事項

- (1) 研修生がエリア外に出ないように、団体指導者を配置するなどの安全体制を整える。(実施計画表を活用してください。)
- (2) 団体の人数が多い場合は、時間差でのスタートやスタート場所を複数にすることもできる。

## 7 研修生の活動の流れ

- (1) 団体指導者からルール等説明を聞き、決められたエリア内の宝（ポイント）をグループで探し、探した宝（ポイント）に記された魚や生き物の名前、地名を解答用紙に書き込む。
- (2) 指定した時間までにゴール場所に行き、団体指導者に答え合わせしてもらい成績を確認する。

## 8 安全のための注意事項

- (1) エリア内にはマレットゴルフのホールや切り株があるので足下に気をつけて探す。
- (2) 蚊や蜂がいる場合もあるので、事前指導や対策をしておく。
- (3) まれにガラス瓶など危険物が落ちていることがあるので、見つけた場合には触らない。
- (4) グループは常に一緒に行動し、木に登る、堤防を越える、道路に出る、民家に入ることはしない。

## 9 館内での宝探しについて

館内の廊下、階段等の公共スペース（研修室内、レストラン内を除く）に50個のポイントを掲示してある。実施方法は、屋外版と同じだが、館内のため他団体への配慮が必要となり、少人数での活動、短時間の活動、雨天時の代替案、館内探検や環境への慣れなどの目的で利用すると良い。

## やいせい 焼青ビンゴについて ※宝探しの変形版

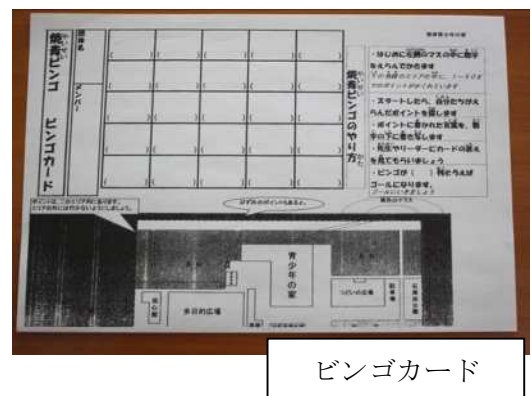
**焼青ビンゴとは**・・・ビンゴカードに書いた数字の宝（ポイント）を見つけ、見つけた宝でビンゴを達成していくゲームである。

### 1 進め方

- (1) グループで5列×5列のビンゴカードに1～50までの好きな『数字』を書き込む。
- (2) 決められたエリア内で記入した『数字』の書いてある宝を探し、その宝に記された『魚、地名』を『数字』の下の（ ）に書き込む。
- (3) 団体指導者に採点してもらい、正しければ○をつけてもらう。○が縦、横、斜めの1列が揃ったら1ビンゴとなる。

### 2 ゴールの仕方

- パターン1 3ビンゴを早く達成したグループが勝ち。  
1ビンゴごとと正答の確認をしても良い。
- パターン2 制限時間内にできるだけ多く答えを見つけ、終了後、団体指導者が全グループのビンゴカードを採点し、多くビンゴを達成したグループが勝ち。



その他運営方法・注意事項などは宝探しと同様である。

# 宝探し実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名				
担当者氏名				
実施予定日	年 月 日 ( )			
参加者人数	研修生	人	団体指導者	人
活動時間	開始時刻	:	終了時刻	:

## 1 実施予定エリア

エリア (予定エリアに○をつける)	グループ構成
①中央エリアのみ      ②中央・北エリア	例 5人班×5、6人班×6 計11班
	① ( )人班×( )
	② ( )人班×( )
③中央・南エリア      ④南・中央・北エリア	③ ( )人班×( ) 計( )班

## 2 団体指導者の配置 ※人数や配置の有無は、各団体で決めてください。

役割	団体指導者氏名
①本部待機	
②巡回	

## 3 安全体制チェックポイント (確認・実施したものに○をつけてください。)

実施エリアの下見、緊急時の避難場所の確認を行った。	
災害や事故、怪我や迷ったときなどの緊急時の対応方法を決め、事前に指導した。	
指定エリアや入ってはいけない場所を事前に指導した。	
団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

**※未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認、実施してください。**

この計画表は団体で御利用ください。(青少年の家に提出する必要はありません。)

# チャレンジラー

【活動可能人数：100人程度】

【活動時間（めやす）：1～3時間】

※活動紹介動画は次ページ

## 1 チャレンジラーとは

イニシアティブゲームを数種類組み合わせ、時間や達成度を競うゲーム。（イニシアティブゲームとは、1人では解決できない課題に対してグループが協力し合いながら解決する活動のこと）グループの結束を高めることをねらう団体には、うってつけのプログラムである。

## 2 ねらい

- (1) グループで話し合いながら課題を解決することによって、グループでの活動の仕方を学び、互いの信頼を深め協力性を養う。
- (2) 試行錯誤しながら課題を解決することから、達成感、連帯感を得る。

## 3 計画・実施について

### 【事前準備】

- ・運営方法やグループ数、種目を決めておく。（チャレンジラー実施計画表を活用してください。）
- ・ゲームは屋外（つどいの広場、玄関前広場等）で実施するが、雨天時は館内（大体育室等）で実施となり、その場合は実施不可の種目がある。参照 P21、22「6 種目」
- ・グループ数、種目は、実施日の前日までに所員に連絡をする。
- \* 1グループにつき8人程度が望ましい。（人数が多すぎたり、少なすぎるとねらいが成立しにくい。）
- \* 1種目の時間の目安は10～15分程度が望ましい。
- \* 団体指導者は審判を行い、1人につき1種目を担当する。1度に複数の種目を兼ねることはできない。

### 【当日の活動開始前】

- ・活動前に午前の場合は午前8時35分、午後の場合は午後0時30分に所員と実施判断を行う。
- ・用具の設置は全て「所員」が行う。
- ・所員と団体指導者（各審判担当）でルール等の確認をする。
- ・団体指導者は研修生へ活動の流れを説明し、得点用紙を配布して活動を開始する。

### 【活動終了後】

- ・講評や成績発表など事後指導を行う。
- ・用具の片付けは一箇所にまとめておいて、団体指導者は活動終了後、所員に報告する。
- ・ストップウォッチ、バインダー、種目説明用紙は、事務室へ返却する。

## 4 審判（団体指導者）の留意点

- ①審判は担当する種目の場所に原則常駐し、その場で研修生にルールの説明を行う。
- ②種目終了後に審判による振り返り（評価）を行うと、よりいっそうの教育効果が得られる。
- ③審判は得点を記入して、得点記入用紙を研修生に返却する。
- ④各種目のルールは、各団体の年齢構成や実態に応じて、変更できる。

## 5 研修生の活動の流れ

- ①団体指導者から活動の説明やローテーションの流れを聞き、得点用紙にチーム名を書き込む。
- ②スタートする種目の場所に移動し、準備ができたところで活動を開始する。終了後、ローテーションで移動をする。
- ③全種目終了後、得点用紙を団体指導者に渡し、結果発表を待つ。

## 6 種 目



NO.	ゲーム名	方 法	貸出用具	活動形態 (コロナ関係)	場所	雨天可
1	富士は日本一の山	砂浜に立てた専用棒が、すべて隠れるまで砂を盛る。	・専用棒	人同士の間隔が狭い	海浜	×
2	命令3つ集め	審判が指示した物を、グループの全員が3つずつ集める。	・特になし		屋外	×
3	コップいっぱいの水	バケツから手で水をくみ、10m程度離れたコップまで運び、コップを水で満たす。	・コップ ・バケツ		玄関前	×
4	手つなぎ川ごえ	水平に張ったロープネットを、全員が手をつなぎ、ロープを踏まないようにして渡る。	・ロープネット	手をつなぐ	松林	○
5	いなづま脱出	木の間に張り巡らされたロープの隙間を、全員が手をつなぎ、ロープに触れずに通り抜ける。	・ロープ	手をつなぐ	松林	×
6	タイヤキ	2.5mの高さに設定されたポールに、タイヤをはめたり、外したりする。	・専用木製ポール ・タイヤ	密接	本館裏芝生	×
7	日本列島	切り株にグループ全員が乗り、10カウントする。	・切り株	密接	つどいの広場	○
8	くもの巣	木の間に張ったロープネットの枠を、メンバー全員がロープに触れないように通り抜ける。	・ロープネット ・洗濯ばさみ	体を支え合う場合が有り	松林	○
9	こっちこい	リーダーが目隠し列車を指示して、ロープに触れないようにゴールまで導く。	・目隠し用手ぬぐい ・ロープ	手ぬぐい：貸出品を使い回ししないために持参を推奨	松林	○
10	松林DEフィッシング	松林に隠れてる魚の名前が書かれた札・くいを探す。	・ポイント ・魚カード		松林	○
11	月面着陸	リーダー以外は目隠しをして、宇宙船に見立てたフラフープを持ち、リーダーの指示でコーンをよけながら着陸地点に着陸させる。	・フラフープ ・ゴールシート ・コーン ・目隠し用手ぬぐい	手ぬぐい：貸出品を使い回ししないために持参を推奨	玄関前 つどいの広場	○
12	ラインナップ	丸太の上で、審判の指示に従って列を並び替える。	・丸太	密接	つどいの広場	○
13	モンスター	グループ全員が体を組み合わせて1匹のモンスターをつくり、形を維持して10m程度移動する。	・特になし	密接	つどいの広場	○
14	爆弾処理	砂の入ったペットボトルを、4本のロープだけを使って持ち上げて、バケツに入れる。	・ロープ ・ペットボトル ・バケツ		玄関前	○

No.9、11の目隠し用手ぬぐいは、貸出し可能ですが、数に限りがあります。

NO.	ゲーム名	方 法	貸出用具	活動形態 (コロナ関係)	場所	雨天
15	ステッピング・ストーン	スタートからゴールまでの10m程度を、数枚のマットを足場にしながら全員が渡る。	・マット	人同士の間隔が狭い	玄関前 つどの 広場	○
16	玉よりも速く	竹の樋(とい)で道を作り、ゴルフボールを転がせて、10m程度離れた場所にある専用ボックスに入れる。	・樋 ・ゴルフボール ・専用ボックス	密接	玄関前 つどの 広場	○
17	焼津マリンワールド	一人一人に分けられたカードの情報をもとに、どの水槽に何の魚がいるかを当てる。	・道具一式 (カード、台紙など)	人同士の間隔に配慮	屋内用	
18	わいわいブロック	一人一人に分けられたカードの情報をもとに、ブロックで形を作り上げる。	・ブロック ・ヒントカード	人同士の間隔に配慮	屋内用	
19	コピーブロック	離れた場所に置いてあるブロックのモデルを、与えられたブロックを用いて作成する。	・ブロック	人同士の間隔に配慮	屋内用	
20	バルーントローリー	全員一列となって、腹と背中の中にボールを挟み、手を使わず落とさないでゴールまで進む。	・ボール (バランスボール)	人同士の間隔が狭い(バランスボールの直径サイズ)	玄関前 つどの 広場	○
21	くじらの噴水	投げる人、捕る人に分かれる。投げる人はネットを数人で持ち、ネットに乗せたボールを高く上に飛ばす。捕る人はボールが着地する前に全員でキャッチする。	・ネット ・ボール		玄関前 つどの 広場	○
22	的当て	砂に埋め立てた専用棒を5m程度離れた場所から石を投げて倒す。	・専用棒 ・ロープ		海浜	○
23	いしづはまつり	全員で協力して、石を指定の高さまで積み上げる。	・専用棒		海浜	×
24	これつくれ	審判が示したカードにかかっている動物などを、砂浜の上に流木や石を並べてつくる。	・指示カード		海浜	×
25	これだあれ	審判が示したカードの人物名を、石だけを並べて書く。	・指示カード		海浜	×
26	重さでビンゴ	全員が石を一つずつ持ち寄り、規定の重さぴったりにする。	・専用はかり		海浜 または 玄関前	○



## 7 実施の様子



# チャレンジラリー実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名				
担当者氏名		活動場所※	屋外用・館内用・屋内外共通	
実施予定日	年 月 日 ( )			
参加者人数	研修生	人	団体指導者	人
活動時間	開始時刻	:	終了時刻	:

※ 活動場所…基本的に屋外です。雨天時等は館内になります。館内では不可の種目もあります。

## 1 実施予定種目 (種目が10種目以上の場合、欄外に記入)

No.	ゲーム名	審判担当者名
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		

## 2 運営方法

1種目のローテーション時間 (目安 10~15分程度)	分	
グループ構成 例 8人班×4	人班 × ( )	人班 × ( )
	人班 × ( )	人班 × ( )
	人班 × ( )	人班 × ( )

## 3 安全体制チェックポイント (確認・実施したものには○をつけてください。)

団体指導者間の役割分担が明確になっている。	
団体指導者が種目の行い方・ルールを把握している。	
研修生の実態に合ったルールや方法での実施となっている。	

この計画表は団体で御利用ください。

※ 実施する種目及びグループ構成は、実施日の前日までに青少年の家に御報告ください。

報告の方法として、この計画表を提出していただくことでも結構です。



# 海 釣 り

【活動可能人数：30人程度】

【活動時間（めやす）：3時間】

## 1 ねらい

- ・海釣りに親しむとともに、釣りの楽しさや醍醐味を味わう。
- ・釣りの基本的なマナーを学ぶ。

## 2 期 間

年間を通して行えるが、冬季（12月～3月）は魚影も少なく不向きである。

## 3 場 所

小川港内（青少年の家から徒歩約10分、「海釣りマップ」参照）

※ 青少年の家前の海岸で釣ることはできない。

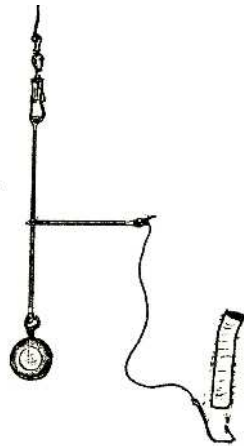
## 4 釣 り 方

### （1）底釣り

天秤から出した糸に針を結び、餌にイソメを付け、底近くで釣る。

#### 【釣れる魚】

ハゼ、メゴチ  
カサゴ 等



### （2）サビキ釣り

まき餌や寄せ餌で魚を集め、そこに擬餌針を集め、そこに擬餌針が5～6本ついた仕掛けをおろして釣る。

#### 【釣れる魚】

ヒイラギ、イワシ  
アジ、ボラ 等

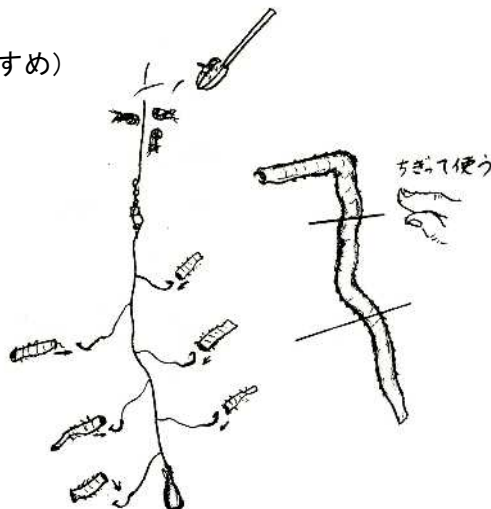


### （3）トリック釣り（おすすめ）

まき餌で魚を集め、そこに針が6本ついた仕掛けに餌のイソメを付けて釣る。

#### 【釣れる魚】

ヒイラギ、フグ、  
アジ 等



## 5 青少年の家で貸し出せるもの

竿とリールのセット（約30セット）、釣具補修用具（2）、たも網（5）、バケツ（10）  
メゴチバサミ（5）、プライヤー（5）、ごみ袋（2）、デッキブラシ（5）、緊急用浮き輪（3）  
ライフジャケット（30）

## 6 各団体で用意するもの

餌、仕掛け、手拭用タオル

※ 餌、仕掛けは、事前に各団体で釣具店に電話予約を入れ、当日、購入する。

東海フィッシング 電話 054-624-9674

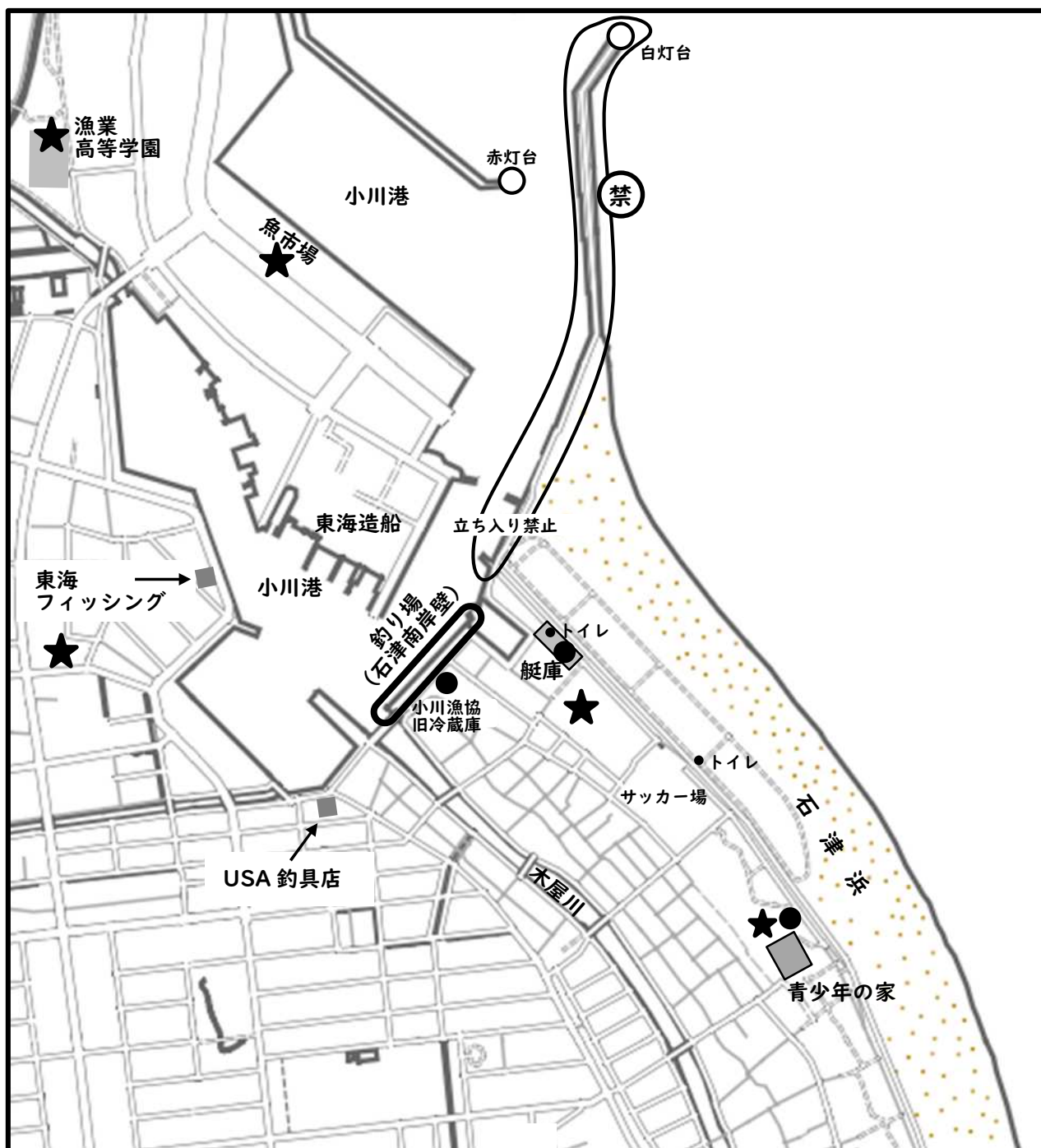
USA釣具店 電話 054-624-5237

## 7 実施上の留意点

- ・ 3mm/h以上の降雨時または3mm/h以上の降雨が予想される場合、釣りの活動を中止する。
- ・ 活動中の平均風速が6m/s以上が予想される場合は活動を中止する。
- ・ 活動前に団体指導者は、午前の活動の場合は8時35分、午後の活動の場合は0時30分に事務室前で担当所員と実施判断を行い、活動の流れや注意事項などを確認する。
- ・ 青少年の家を出発する前に玄関前広場で研修生に対して、竿とリールの扱い方、釣り方等の説明を所員が行う。
- ・ 活動中は必ずライフジャケットを着用する。
- ・ 釣り場への移動は堤防に沿って徒歩で行う。※ 木屋川沿いの道路は使用を避ける。
- ・ キャッチアンドリリースを基本とする。
- ・ 釣りを行った場所の清掃を行う。（「来たときよりも美しく」）
- ・ 仕掛けのおもりや天秤は、各個人または団体で持ち帰る。その他のゴミは分別して袋に入れる。  
※ 仕掛けの釣り糸や針、おもり、天秤は絶対に海中に投棄しない。
- ・ 公園のトイレを利用できるが、必ず用便を済ませてから出発する。  
※ 他店のトイレや水道は借用しない。
- ・ 突然の大雨や雷のときは、「海釣りマップ」に記載されている場所に避難する。
- ・ 地震発生時、緊急地震速報発表時、津波注意報・警報発令時には、速やかに「海釣りマップ」に記載されている最寄りの津波避難施設へ避難する。避難の際は、できるだけ海や河川から離れて移動する。



# 海釣りマップ



釣り場 … 石津南岸壁 この付近が最適

禁 … 突堤上は立ち入り禁止

● … 屋根のある場所 突然の大雨や雷の時に避難する。

★ … 避難施設（避難タワー又は避難ビル） 地震や津波の時に避難する。

地震や津波の際は、青少年の家又は最寄りの避難施設へ直ちに避難誘導する。

# 海釣りを実施する団体指導者の皆様へ

本所の釣り竿は、多くの皆様に御利用いただいております。いつも快適に御利用いただくために、注意していただきたいことがいくつかあります。御利用前の指導の時に、下記の注意事項を研修生に徹底してください。

## 1 釣り竿、リールの扱い方

### (1) 点検

- ①竿、リールの破損はありませんか。
- ②シモリウキ、よりもどし、ガイドは付いていますか。
- ③糸はからんでいませんか。

### (2) 釣り竿

- ①柄の部分を杖のように地面につけないようにしましょう。
- ②竿先を下に向けて持ち運ばないようにしましょう。
- ③他の人に踏まれないように置き方や置き場所に気をつけましょう。

### (3) リール

- ①ストッパーレバーは左に倒した状態で使います。
- ②糸がからんでしまった時は、少しでもそのままにしないで完全にほどこいてから使しましょう。
- ③糸がたるんだ状態でリールを巻くと、からまる原因になります。



メゴチバサミ



プライヤー

## 2 危険な魚

ゴンズイやハオコゼのびれの部分には毒があり、素手で触ると大変危険です。メゴチバサミやプライヤーで挟んだり、靴で踏んだりして針を外すようにしてください。場合によっては、ハリスを切ってください。



ゴンズイ



ハオコゼ



メゴチバサミとプライヤーでつかんで針をとる。

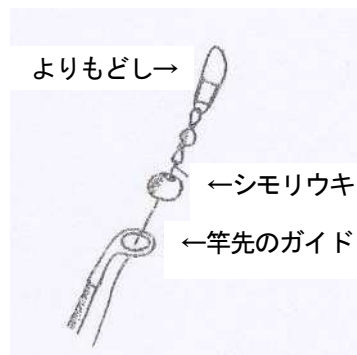
## 3 釣り終わってから

### (1) 釣り場では

- ①餌やゴミなどが残っていないか確認してください。
  - ・餌は使い切ってください。
  - ・ゴミ（餌・仕掛けの入っていたビニール袋、台紙、釣り針等）は、必ずお持ち帰りください。
  - ・おもりや天秤は、各個人または団体で持ち帰ってください。
  - ・餌などで釣り場が汚れた時は、水で流したり、デッキブラシでこすったりしてきれいにしてください。
- ②持って行ったもので、忘れ物がないか確認してください。

### (2) 青少年の家では

- ①竿とリールを水洗いしてください。
- ②団体指導者が釣り竿とリールを点検してください。
  - ・竿、リールの破損はないか。
  - ・シモリウキ、よりもどし、竿先のガイドが付いているか。
  - ・糸がからんでいないか。
- ③破損等がある場合は、事務室に連絡してください。
- ④釣り竿は竿立てに、その他の貸し出し物は竿立ての横に並べて置いてください。
- ⑤ライフジャケットは、指定された場所に整頓して戻してください。



# 海釣り実施計画表

静岡県立焼津青少年の家

団体名				
担当者氏名				
実施予定日	年 月 日 ( )			
参加者人数 ・ 竿の使用本数	研修生	人 (本数 )	団体指導者	人 (本数 )
活動時間	開始時刻	:	終了時刻	:

## 1 団体指導者の配置 (人数や配置は、各団体で決めてください。)

役割	団体指導者氏名		
帯同			
本部待機 <sup>※</sup>			
監視体制			

※ 本部待機は団体の判断で設置しなくても構わない。

## 2 安全体制チェックポイント (確認・実施したものには○をつけてください。)

実施場所の下見、緊急時の避難場所の確認を行った。	
釣り針の扱い方など、安全に活動を行うための事前指導をした。	
災害や事故、怪我などの緊急時の対応方法を決め、事前に指導した。	
団体指導者間の役割分担が明確になっている。	

**※ 未確認、未実施の項目については、当日までに必ず確認、実施してください。**

この計画表は団体で御利用ください。(青少年の家に提出する必要はありません。)

## 創作活動一覧

プログラム名	定員 (人)	材料費 (円)	内 容	対象			
				小学生 未満	小学校 低学年	小学校 中学年	小学校 高学年 以上
黒はんぺん	96 (16班)	400	すり身を味付け・成型し、茹でる。調理後、試食をしてその味を楽しむ。		○	◎	◎
しっぽうやき 七宝焼	20 程度	550	専用の絵の具・窯を使い、キーホルダー、ブローチの焼き物を作る。				○
ビーズ アート	40 程度	130	カラフルなビーズと一緒に貝やビー玉を詰め、色鮮やか置物を作ります。		◎	◎	○
ロープ なべしき	100 程度	130	港町焼津に伝わるロープワークで、1本のロープでなべしきを作る。				○
ロープ ストラップ	200 程度	100	カラーのアクリルひもを使ってストラップを作る。 ※ロープワークの応用			○	◎
ひも人形	200 程度	60	カラーのアクリルひもを使って人形を作る。 ※ロープワークの応用			○	◎
切り絵	100 程度	100	型紙をカッターナイフで切り抜き、ラミネートして仕上げる。 ※図柄により難易度が大きく変わる。		○	◎	◎
プラバン	100 程度	100	樹脂シートに絵を描き、オーブントースターで熱してキーホルダーを作る。	○	◎	◎	○
紙 フリスビー	200 程度	10	絵を描いた円形の紙と新聞紙を使ってフリスビーを作る。	○	◎	◎	
石の デザイン	200 程度	20	海岸で拾った石に絵を描いてニスを塗り、置物を作る。 ※一人1個	○	◎	◎	○
松ぼっくり フィッシュ	200 程度	20	松林で拾った松ぼっくりに飾りや塗装を施し、置物を作る。		○	◎	○

(令和5年3月現在 材料費は変更する場合があります)

\*基本的には、本所の道具を使用します。(人数が多くなると、道具が足りなくなる場合があります)  
プログラムによっては団体で持参していただく物もあります。各説明で御確認ください。

\*定員を超える場合は、御相談ください。

\*対象の印(◎、○)は目安です。参加者の実態により判断してください。

\*所員が直接指導する「黒はんぺん」「七宝焼」については、屋外プログラム雨天時の代替え案としては利用できません。ただし、海洋活動の代替え案としては利用できます。



# 黒はんぺん

【活動可能人数：96人（16班）】  
【活動時間（めやす）：2～3時間】  
【材料費：400円／人】



活動紹介動画



## 1 黒はんぺんとは

- ・鯖（さば）や鰯（いわし）、鰯（あじ）など、多獲性赤身魚を原料とした魚肉練り製品である。茹で蒲鉾に分類される。石灰色で、形状は、半月状に形成されたものが多い。



さば



いわし



あじ

- ・静岡県中部を中心に、静岡県ほぼ全域で食べられている。特に焼津市の名産とされるが、静岡市や沼津市でも生産されており、郷土料理に使用される材料の一つにもなっている。静岡おでんの具材の一つとしても有名である。
- ・駿府城にいた徳川家康が鰯が大漁だった年、食べきれない鰯がいたむのを見て、日持ちするような手段を台所方の役人戸川半兵衛に命じたのが始まりという説もある。
- ・焼津では100年ほど前から作られ始めた。
- ・焼津市内に30軒あった業者が5軒となり、1軒が1日に約15,000枚製造している。

## 2 ねらい

黒はんぺんづくりを通して焼津市の特産品の作り方を知るとともに、古くから漁業が盛んな地域として栄えた焼津についての理解を深める。

## 3 計画・実施上の留意点

### (1) 計画上の留意点

- ・1グループ4～6人で作業を行う。
- ・個人の持ち物として、マスク、三角巾、エプロン（またはそれに代わるもの）を準備する。

### (2) 実施上の留意点

- ・実施形態や団体指導者の役割について担当所員と打合せを必ず行う。
- ・作業の前には手洗いを必ず行う。作業中は、マスク、三角巾、エプロン（またはそれに代わるもの）を着用することで、衛生面に十分に配慮する。
- ・茹でる作業で沸騰したお湯を使うので、火傷に十分注意しながら作業を行う。

**※海洋活動の雨天案にもできるが、材料を仕入れるため、必ず活動計画に黒はんぺんが入っていないければならない。（利用期間中に必ず実施する）**

- ・説明の中で所員が手本を行う。この際のすり身は団体の材料から使用する。

## 4 活動の展開

### (1) 「黒はんぺん」や作り方についての説明

説明は所員が行う。事前に会場準備をお願いする。人数の多い団体は、説明をレストランとレストラン以外の研修室の2箇所で行い、説明後、レストランに移動する。

### (2) 身支度、移動

手洗いや服装など、十分な準備ができたかを確認する。

### (3) 黒はんぺんづくり

すり鉢ですりつぶしたり混ぜたりする作業、すり身を木型にすりつける作業は、交代しながら全員が行う。茹でる作業では火傷に十分注意する。

### (4) 試食

基本は作りたてを試食する。午前実施の場合には昼食と一緒に食べることもできる。（諸条件あり。詳しくは食事の注文時にレストラン部と要相談。）

### (5) 活動のふり返り・片付け

感想を発表し合ったり、記録用紙に記入したりすることで体験したことをまとめる。

# しっぽうやき 七宝焼

【活動可能人数：20人程度】  
【活動時間（めやす）：3時間】  
【材料費：550円／個】

活動紹介動画



## 1 七宝焼きとは

金属工芸の一種で、銅・銀などの金属の表面にガラス質の釉薬（うわぐすり）を焼き付けた伝統工芸品。七宝焼きの「七宝」とは、七つの宝という意味で、仏教の経典にある七種類の宝をちりばめたように美しいものという意味で名付けられたという説がある。

焼津青少年の家の活動では、小判型のキーホルダー、蝶、葉のブローチから1つ選んで七宝焼を作成する。

## 2 準備物（本所で用意します。）

- <個人> ・素地盤（キーホルダー、蝶、葉のブローチから1つ） ・作業板  
<グループ> ・七宝絵の具（透明、不透明） ・ホセ（竹の串）  
・灰皿（黄、赤、青） ・スプーンの入った瓶

## 3 作り方

### （1）準備をする

- ①準備物を各テーブルに用意する。
- ②黄と赤の灰皿に水を入れておく。（絵の具への水補充用、ホセ洗い用）

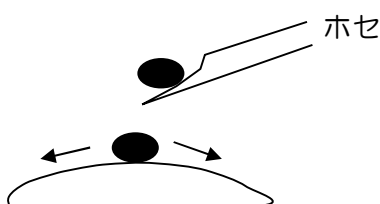
### （2）素地盤に絵の具を盛る（約1mmの厚さで、全体にムラなく盛る）

- ①透明の絵の具皿にスプーンで水を入れ、シャーベット状にする。
- ②絵の具をホセにとり、素地盤にのせて広げる。
- ③約1mmの厚さにする。

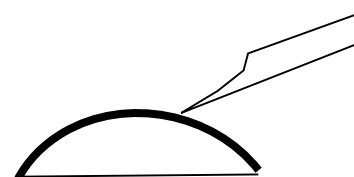
①絵の具はシャーベット状にする。



②絵の具をホセにとり、素地盤にのせて広げる。



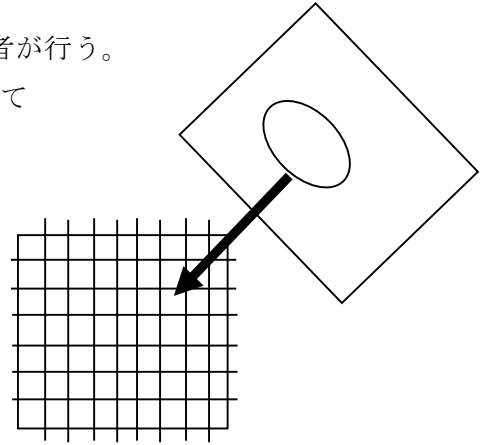
③約1mmの厚さにする。



- <ポイント>
- ・絵の具が乾燥していたら、水を加える。
  - ・素地盤は必ず作業板の上に置いて作業する。
  - ・素地盤の銅色の部分はさわらない。（手の脂が付くと変色する）
  - ・キーホルダーの銀色の台は、必ず外しておく。

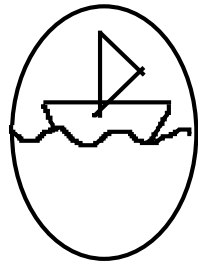
(3) 焼く【1回目】 ※焼く作業は、所員と団体指導者が行う。

- ① 絵の具がかわいてきたら、素地盤を作業板からすべらせて金あみの上にのせる。
- ② 電気窯 800℃以上で1分～2分焼く。  
(焼き加減を見て確認する。)
- ③ 焼き終わった後、5分程度は熱いので注意する。



(4) 絵や文字、デザインを描く

- ① 不透明の絵の具皿にスプーンで水を入れ、シャーベット状にする。
- ② 素地盤が冷めてから、絵やデザインを絵の具で描く。



<ポイント>

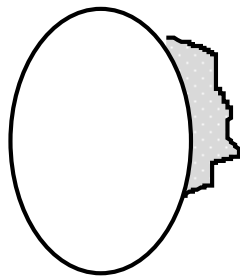
焼くと絵の具が若干広がるので、あまり細かなものでない方がよい。

(5) 焼く【2回目】

- ① 1回目と同じように焼く。

(6) バリをとる

- ① 素地盤からはみ出たところをやすりで<sup>けず</sup>削る。  
※力を入れすぎると割れてしまうので注意。



バリ

(ブローチの場合は削らなくてよい。)

(7) ボンドで接着する

- ① 「キーホルダー」は台に素地盤を接着する。チェーンも取り付ける。
- ② 「蝶」「葉」は、安全ピンを裏に接着する。

(8) 片付けをする

- ① 使った絵の具皿を箱に戻す。  
※水がたくさん入っている絵の具皿の水は、青の灰皿に入れてください。
- ② 灰皿の水を流しにこぼす。  
※青の灰皿の水は、流しのバケツの中にこぼしてください。

# ビーズアート

【活動可能人数：40人程度】

【活動時間（めやす）：1～2時間】

【材料費：130円／1個】

活動紹介動画



## 1 ビーズアートとは

容器にビーズと一緒に貝やビー玉などを詰めます。そこへ水を満たすことで、ビーズが見えなくなり、まるで海中に貝やビー玉が浮いているように見える色鮮やかな作品です。詰め方や詰めるもので作品の見え方が変わり、人それぞれの作品が出来上がるのも楽しみの1つです。

## 2 準備物（本所で用意します）

- 材料 ・ガラス容器（1個） ・ビーズ（約50個） ・貝がら&ビー玉（※合わせて4つ）  
・プラバン（5cm×7cm 1枚） ※全て貝がら・ビー玉も可能
- 道具 ・はさみ ・新聞紙 ・白紙（小さめ） ・油性マジック ・プラスチック容器（1個）  
・スプーン（1個） ・セロハンテープ ・ピンセット

## 3 作り方

### （1）構想を考える

- ・どのようにビーズを詰めるのか、プラバンに何を書くのか、ビー玉や貝をどこに配置するのかを白紙に描いてイメージを持っておく。

### （2）プラバンに絵を描く・塗る・切る

- ・プラバンに構想で考えた絵や文字をかく。
- ・色を塗って好きなように切り取る。

### （3）ビーズ・貝・ビー玉を取りに行く（プラスチック容器を使用）

- ・入りたい色のビーズを容器一杯になるように持っていく。
- ・貝、ビー玉を計4つ持って行く。

### （4）ガラス容器に入れる

- ・構想したようにガラス容器に材料を入れていく。
- ・材料を入れ終わったら水を入れてこぼれないように満たす。

### （5）ふたを閉めて完成

- ・容器が割れないように新聞紙に包んで持って帰る。

## 4 留意点

- （1）ビーズは無毒のものを使用しているが、安全性を考慮し、手では触らないようにする。作業後に必ず手洗いをを行う。
- （2）ビーズは高吸水性樹脂のため、誤って飲み込むと消化器官に詰まるおそれがあるため注意する。
- （3）ビーズは水に溶けないため、廃棄の際は一般ゴミとして処分する。絶対にトイレや排水口に流さない。



水を入れるとビーズの形がなくなり、貝やビー玉が浮いて見える。





# ロープなべしき

【活動可能人数：100人程度】

【活動時間（めやす）：1～2時間】

【材料費：130円/個】

## 1 ロープなべしきとは

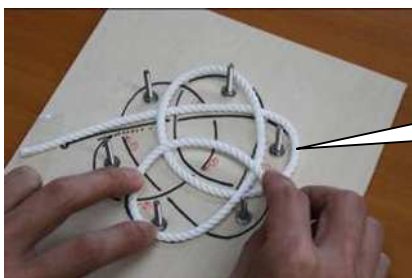
港町焼津では、古くから漁師・港関係者たちによって様々な結び方が生み出され、現在まで伝えられてきた。これらの結び方を応用し、約4mのロープ1本を組んで作るなべしきである。

## 2 準備物（本所で準備する物）

・ロープ（5mm×4m）1本 ・補助板 ・セロハンテープ

## 3 作り方

(1) ロープの端をテープで仮留めし、補助板の図に沿ってロープを組む。



線の上にロープをのせていく。

(2) 1周した形の内側に沿って、組み進める。



一周した基本の形がお手本となる。

(3) ロープがなくなるまで組み進める。



写真のように、3周ぴったりで収まるとは限らない。  
ロープが終わるまで巻いてもOK。

(4) 形を整えて完成！



立派ななべしきが完成！  
使うほど味が出てくる。

# ロープ ストラップ

【活動可能人数：200人程度】  
【活動時間（めやす）：1～2時間】  
【材料費：100円／個】



## 1 ロープストラップとは

港町焼津では、古くから漁師・港関係者たちによって様々な結び方が生み出されてきた。これらの結び方を用いて、2本のアクリルひもを編み込んで作るストラップである。

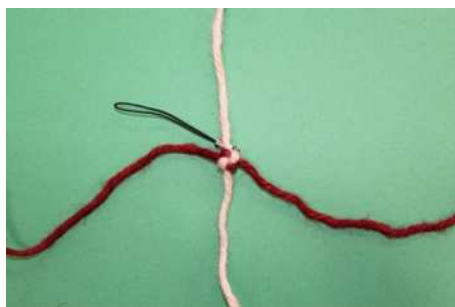
## 2 準備物（本所で準備する物）

・アクリルひも（80cm×2本） ・ストラップ（冠） ・はさみ・編み方説明書

## 3 作り方

(1) ロープを重ね、冠を締め込み、基本の形を作る。

※詳しくは、編み方説明書に載っている。



(2) 編みの種類を決める。※初心者には丸編みがおすすめ。

A 丸編み  
(らせん編み)



B 角編み  
(垂直編み)



(3) 編み込んでいく。

- ・編み方は、写真付きの説明書があるので、それを見ながら行っていく。
- ・自分の好きな長さまで編み込んでいく。

(4) 端末の処理をする。

- ① 4本のひもの中から、一番長く残っているひもを選ぶ。
- ② 選んだひもで、残りの3本のひもを束ね、しばる。
- ③ 編みこんだストラップの根元できつくしばったら、ひもの長さを切りそろえる。

# ひも人形

【活動可能人数：200人程度】  
【活動時間（めやす）：1～2時間】  
【材料費：60円／個】



## 1 ひも人形とは

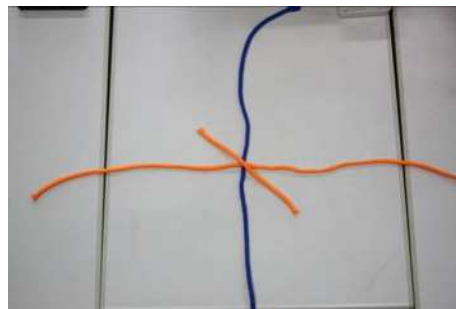
港町焼津では、古くから漁師・港関係者たちによって様々な結び方が生み出され、現在まで伝えられてきた。これらの結び方を用いて、2本のアクリルひもを編み込んで作る人形である。

## 2 準備物（本所で準備する物）

- ・アクリルひも（長（80cm）×2本、短（10cm）×1本）
- ・木製ビーズ
- ・はさみ
- ・編み方説明書

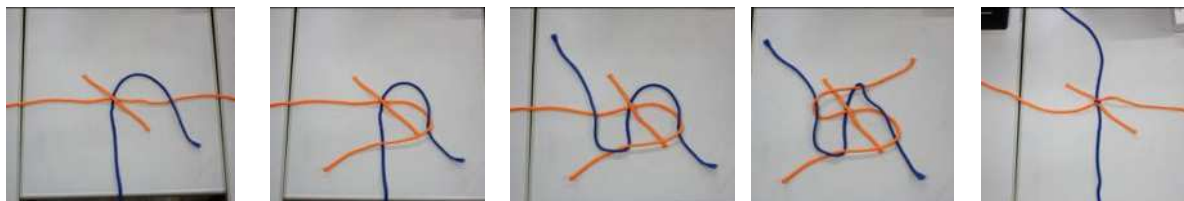
## 3 作り方

(1) 縦のひもが下になるように2本の長いひもを重ね、交わっている上に短いひもを重ねる。



(2) 1回編んで、短いひもを固定する

※詳しくは、編み方説明書に載っている。



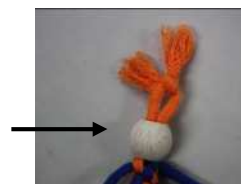
(3) ひっくり返して編み込んでいく

残りのひもが10cm程度になるまで編み込んでいく。

※編み方は「丸編み（らせん編み）」と「角編み（垂直編み）」があるが、初心者には「丸編み」がおすすめ。

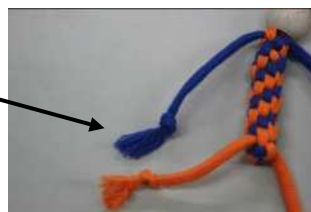
(4) 手足と頭を作る

① ひもに木のビーズを通し、ビーズが抜けないように結ぶ。  
(木のビーズが頭になる。)



② 手足の部分のひもを切って、長さを調節する。

③ 切ったひもの先をこま結びにする。



(5) 完成！

カバン等に付けて飾ることもできる。





# 切り絵

【活動可能人数：100人程度】

【活動時間（めやす）：2～3時間】

【材料費：100円／枚】

## 1 切り絵とは

白黒で描かれた下絵をカッターナイフなどで切り抜いて作り上げていく絵画の手法の一つ。簡単にできるものから細かい作業が必要とされる難易度のものまで20種類以上の下絵がある。切り抜いた下絵は、色上質紙の台紙に貼り、ラミネートする。

## 2 準備物（本所が用意する物）

- ・下絵      ・カッターナイフ                  ・カッターマット                  ・色上質紙
- ・のり      ・ラミネートフィルム                  ・セロハンテープ                  ・ラミネーター

## 3 作り方

### （1）型紙を選ぶ。

- ・型紙は、難易度によって1時間程度で切り抜ける物から、数時間を要する物まで様々なので、活動時間や研修生の年齢に合わせて適したものを選択する。

### （2）型紙を切り抜く。

- ・黒または白い部分を切り抜く。（一つながりになる方を残すようにする）
- ・必ずカッターマットを敷く。カッターナイフの刃は切りにくくなったら交換する。

### （3）台紙（色上質紙）を選び、切り抜いた型紙をのせる

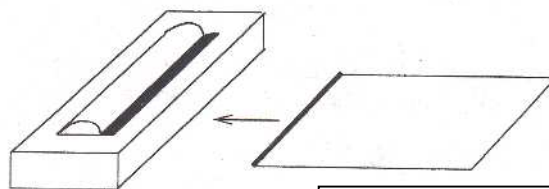
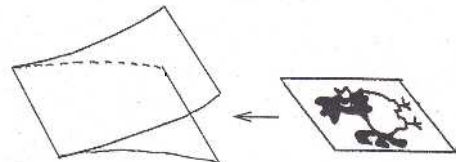
### （4）パウチフィルムにはさみ、ラミネートする

- ・切り抜いた型紙は裏返し、黒い部分が見えないようにする。
- ・型紙に数箇所のりをつけ、台紙に貼り付ける。

【ラミネーターについて】（機種によって異なる）

- ・温度125度、速度5に設定する。
- ・グリーンランプが点灯したら、使用可能となる。

※ラミネートの作業は団体指導者が行う。



必ずフィルムがつながっている方からラミネーターに挿入する。

### （5）完成！





# プラバン

【活動可能人数：100人程度】  
 【活動時間（めやす）：1～2時間】  
 【材料費：100円／個】

## 1 プラバンとは

樹脂シートに絵などを描き、オーブンで熱して1/4ほどの大きさになったものにキーチェーンを付けて、キーホルダーにする。樹脂シートの材料である薄く伸ばされたポリスチレンが、熱を加えられることによって、元の状態に戻ろうとする原理を利用している。オーブンの中で、やわらかくなり元の状態に戻っていく様子も子どもたちの関心を引くだろう。

## 2 準備物（本所で準備する物）

- ・プラバン（半分に切ると2つ作ることができるが、キーチェーンの追加は無し）
- ・キーチェーン（1個）
- ・油性マジック
- ・ラジオペンチ
- ・ハトメパンチ
- ・はさみ

## 3 作り方

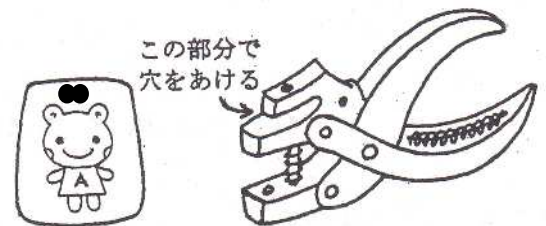
### (1) 紙に下絵を描く。

※下絵の型紙も用意ある。（直接プラバンに絵を描く場合は省略可）

### (2) 下絵の上にプラバンをのせ、油性ペンでなぞったり色付けをしたりする。

### (3) はさみで好きな形に切る。（切らなくてもよい）

### (4) キーホルダーにするため、ハトメパンチで重ねて2つ穴をあける。



### (5) オーブントースターで熱する。（必ず団体指導者が行う）

①アルミ箔をしわにして裏返しオーブントースターに敷いて、その上にプラバンを乗せる。



面積で約4分の1にちぢむ!



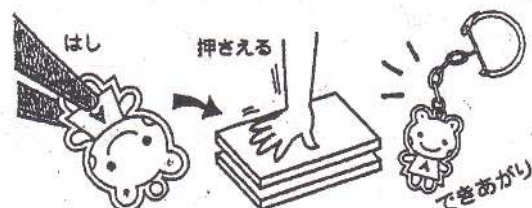
②加熱する。タイマーは2分以上に設定し、縮む動きが止まったら、割りばしでつまんで取り出す。

### (6) 形を整え仕上げる。

オーブントースターから取り出したら、すぐに板ではさんで10秒程度押さえ、そりを直す。

### (7) キーチェーンをつける

※キーチェーンは一人1個なので、プラバンを2つに切って作った場合もキーチェーンを付けられるのは1つだけになる。





# 紙フリスビー

【活動可能人数：200人程度】

【活動時間（めやす）：30分～1時間】

【材料費：10円／個】

## 1 紙フリスビーとは

新聞紙と画用紙を使って作るフリスビーである。比較的簡単に作ることができる。

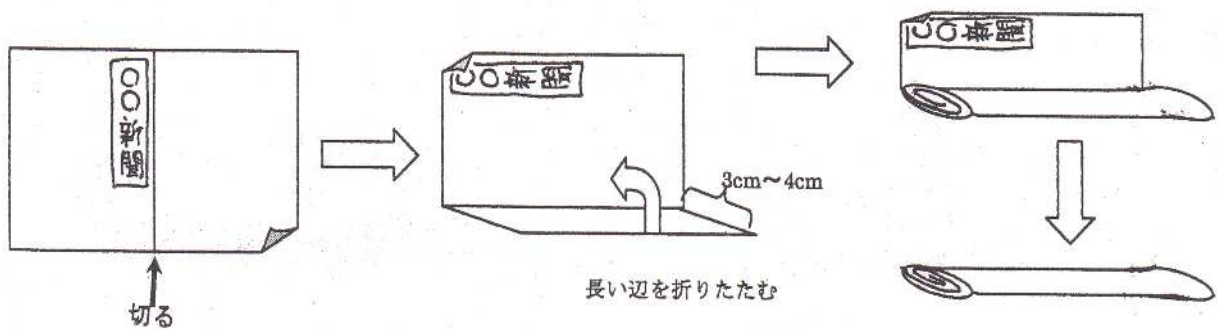
## 2 準備物（本所で準備する物）

・新聞紙    ・画用紙    ・マジック（ポスカ）    ・セロハンテープ    ・はさみ

## 3 作り方

(1) 円形の色画用紙にマジックやポスカで絵や字をかく。

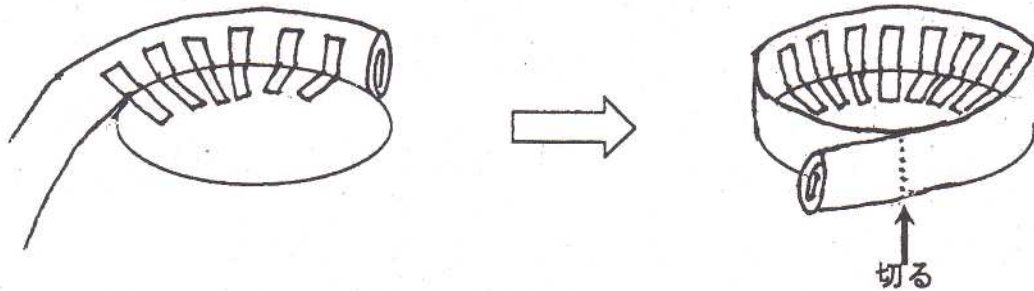
(2) 新聞紙を半分の大きさに切り、長い辺をおよそ3cm～4cmの幅になるように折りたたんでいく。



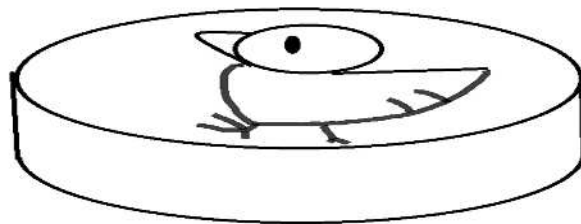
(3) 折りたたんだ新聞紙を丸めながら、円形の画用紙にセロハンテープでつける。

① フリスビーの内側にセロハンテープを使って貼っていく。

② 1周して新聞紙が余ったら切る。



(4) 完成！



# 石のデザイン

【活動可能人数：200人程度】  
【活動時間（めやす）：1～2時間】  
【材料費：20円／個】

活動紹介動画



## 1 石のデザインとは

青少年の家の前に広がる石津浜には、様々な形をした石がある。その石に絵を描いたり、石の形を利用してデザインしたりして作る石の置物である。

## 2 準備物（本所で準備する物）

○研修生が使用する物

- ・マジック ・ポスカ ・下敷き（古紙）

○所員が用意する物

- ・ニス（作品には所員がニスを吹き掛ける。）  
・古新聞紙（作品を置きニスを吹き掛ける。）



## 3 作り方

### （1）石を拾ってくる

【注意事項】

- ・乾燥している石を使う。
- ・1人あたり、1個の石（握りこぶし程度）とする。
- ・浜で石を拾う場合は、波打ち際へは近づかない。
- ・雨天の場合は、拾いに行くのが大変なので、事前に準備しておくといよい。

### （2）マジック、ポスカで石に絵を描く

- ・石の裏に、自分の名前を忘れずに書く。日付を書くと記念になる。
- ・下敷き（古紙）を使い、机に色が付かないようにする。

### （3）つやだしニス（スプレー）で仕上げる

#### ①団体が行うこと

- ・新聞紙の上に、1cmほどの間隔を空けて石を並べる。
- ・置く場所は、玄関内、玄関外等、当日の状況により、所員が団体指導者に連絡します。

#### ②所員が行うこと

- ・スプレー容器をよく振り、石から10cm程から、石の片面のみ吹き掛ける。

### （4）乾いたら完成

- ・ニスを吹き掛けてから乾くまで、天候によるが1時間程度かかる。



# 松ぼっくりフィッシュ

【活動可能人数：200人程度】  
 【活動時間（めやす）：1～2時間程度】  
 【材料費：20円／個】

## 1 松ぼっくりフィッシュとは

焼津青少年の家の周辺は、松林が広がっており、松ぼっくりを拾うことができる。その松ぼっくりを魚に見立て、目玉をつけたり、装飾したりして作る置物である。

## 2 準備物

### ○本所で用意する物

- ・目玉（2つ）
- ・ビーズ
- ・ポスカ
- ・木工用ボンド
- ・つま楊枝
- ・下敷き（古紙）

### ○団地で用意する物

- ・松ぼっくり  
（松ぼっくりは乾燥している物。事前に拾っておくこと。）
- ・ペットボトルのキャップ  
（作品1つにつき、キャップを1つ）
- ・持ち帰り用容器 … 参照「4 その他」



## 3 作り方

### （1）松ぼっくりを拾う。

- ・見本の作品を見て、どの位の大きさのものがよいか見通しをもたせるとよい。
- ・団体指導者が事前打合せや下見の際に松ぼっくりを拾い、事前に本所で保管しておくことも可能である。
- ※雨で濡れた物や、濡れて傘が閉じている物は使用できない。

### （2）松ぼっくりの底の面に目玉を貼り付け、松ぼっくりフィッシュにする。

- ・松ぼっくりの底に、木工用ボンドで、動く目玉を2つ貼り付ける。
- ・下敷き（古紙）を使い、机にボンドが付かないようにする。

### （3）ポスカやビーズ等で松ぼっくりフィッシュに装飾する。

- ・ビーズは、装飾したい箇所にボンドを適量つけてから、つま楊枝で乗せていく。
- ・キャップの台座に載せたときに隠れてしまう部分には、装飾しない。

### （4）キャップの台座に松ぼっくりフィッシュをのせ、ボンドで接着する。

- ・あらかじめキャップの底に記名しておく。
- ・松ぼっくりとキャップの縁が接しているところにボンドをつけて接着する。
- ・乾くまでに時間が掛かるので、ボンドをつけたらしばらくそのままにしておく。

## 4 その他

- 持ち帰り時の破損が心配な場合は、入れ物等を団地で用意するとよい。
- ・段ボール箱やコンテナ等を用意し、団体で一括して持ち帰る。
- ・紙コップ等に入れて個人で持ち帰る。

# レクリエーション

【活動可能人数：40人程度】  
【活動時間：60分以内】

## 1 ねらい

楽しい雰囲気の中で、声を出したり体を動かしたりしながら友達とふれ合う中で、心身を解放し、友達によさに気付いたり自分を見直したりするきっかけとする。

## 2 活動について

- ・所員の指導による 60 分間以内の活動を行う。
- ・活動可能人数は 40 人程度が望ましい。
- ・団体指導者も一緒に活動に参加する。
- ・活動を希望する場合は、『利用申込書』の「所員によるレクリエーション指導プログラム（60 分以内）の希望あり」に○をつけ、研修プログラム欄に希望時間も併せて記入する。夜は設定できません。
- ・動きやすい服装、運動できる靴で参加する。

## 3 活動内容

簡単なゲームを行う。

※研修生の実態に応じて、「ゲーム主体の主に体を動かす内容」、「知恵を使う体をあまり動かさない内容」、「仲間づくりを主体とした内容」など、様々な内容で実施できるため、内容に希望があれば御相談ください。

## 4 活動場所

基本的には大体育室で行うが、人数や形態によっては、オリエンテーション室や屋外でも実施可能である。

## 5 雨天時の代替案としての活動計画について

- ・海洋活動の代替案として実施することができる。
- ・海洋活動以外の屋外プログラムの代替案として実施することはできない。

## 6 活動の例

- ①アイスブレイキング（ジャンケンゲーム、力だめし、ゲームソングなど）
- ②仲間づくりのゲーム（人数集めゲーム、自己紹介ゲームなど）
- ③グループで楽しむゲーム
- ④グループ対抗で競うゲーム（ボールやフラフープを使ったゲームなど）

# ファイヤープログラム

## (キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー)

### 1 意義と役割

- ・真っ暗な闇と炎の対照。炎を囲んでの友との語らい、力いっぱい歌い踊る躍動感、そしてしばし沈黙して自己を振り返る。ファイヤープログラムは、感性豊かな子どもたちの心を開き、共に感動を味わう絶好の活動である。
- ・屋外で、大きな火を囲んでダイナミックな活動が期待できるキャンプファイヤー。屋内で、静かに心に染み入る幻想的なキャンドルファイヤー。それぞれ一長一短があるため、活動の目的や、活動参加者の構成に応じて組み入れると良い。

### 2 プログラムの流れ

本来、定型といわれるものはないが、意義をふまえ単なるお祭り騒ぎにならないように以下のような三部構成で行うのが一般的である。

- 第1部「点火のセレモニー」(厳粛な雰囲気の中で)
- 第2部「交流のつどい」(歌唱、スタンツ、ダンスなどのレクリエーション)
- 第3部「消火(分火)のセレモニー」(再び厳粛な雰囲気で)

### 3 運営のポイント

- ・静→動→静という雰囲気のカーブを意識する。
- ・日常生活とは異なる雰囲気を醸し出す。
- ・それぞれの団体の性質を考えて独自のプログラムを考える。  
(各団体の団体指導者、活動参加者による企画・運営)

### 4 事前の準備

- ・プログラムの検討、役割分担
- ・シナリオ作成(歌やスタンツの練習、準備)
- ・資材の準備(貸出し)、場所の選定
- ・安全確保の確認

### 5 活動終了後の流れ

- ・参加者の誘導
- ・消火と片付け
- ・用具の返却

# キャンプファイヤー

【活動可能人数：制限なし】

【活動時間（めやす）：1～2時間】

## 1 実施時期

4月から10月まで（実施不可：11月から3月まで）

## 2 準備物

○本所が用意できる物

表1

◇無料で貸出し可

- ①衣装（火の神、火の巫女） ②神の杖 ③ライター ④新聞紙（着火用）  
⑤バケツ（消火用） ⑥スコップ

- ・①～④は事務室で受け取る。⑤⑥は、薪等と一緒にリアカーに積んである。
- ・活動場所の浜には電源がないため、アンプ等を利用する場合は電池等の電源の用意が必要となる。電源延長コードは危険なため使用できない。
- ・アンプ（CDデッキ）は貸出可能だが、団体に乾電池（単1：8つ）を用意する必要がある。

◇有料で提供できる物

- ⑦薪（1本 220円） ⑧焚きつけ少々（薪とセットで提供） ⑨灯油（120円／1L）

- ・⑦⑧はリアカーに積んである。⑨は事務室で受け取る。
- ・推奨の薪本数は12本、灯油は1Lです。

○本所で用意できない物

点火、分火用のトーチ、投光器、懐中電灯

## 3 事前準備

### (1) 実施判断

- ・雨天時、強風時は活動できない。最終的な実施判断は、活動直前（夕食後）に事務室前で行う。あらかじめ準備をしても、中止判断となる場合がある。

### (2) 場所の選定

- ・活動場所は、青少年の家前の石津浜。特に指定の場所はないため、各団体に決める。火の粉が飛ぶ場合があるため、風があるときには風下にはいない方が安全である。また、砂地の方が後片付け等をしやすい。

### (3) 資材の運搬と薪の準備

- ・リアカーに積んだ状態で資材を提供する。自転車置き場から各団体に運び、準備を行う。明るいうちに準備をする方が安全である。

## 4 後片付けについて

- ・表1 ①～③及び⑨の物品は、事務室に返却する。
- ・表1 ⑤⑥の物品は、リアカーごと自転車置き場に返却する。
- ・薪は完全に燃やしきり、灰だけにして、水をかけて完全に消火する。その後、穴を掘り灰を埋める。

※薪が完全に燃え尽きるまでは、相当の時間（2～3時間程度）を要しますが、最後まで責任をもって現場での監視をお願いします。

- ・後片付け終了後は、所員に知らせる。

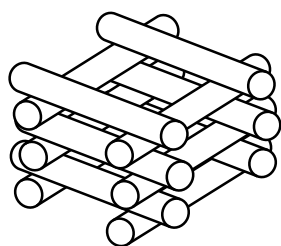
## 5 翌朝の現場確認について

翌朝にも、必ず現場を確認する。忘れ物、後始末の様子を再度確認する。

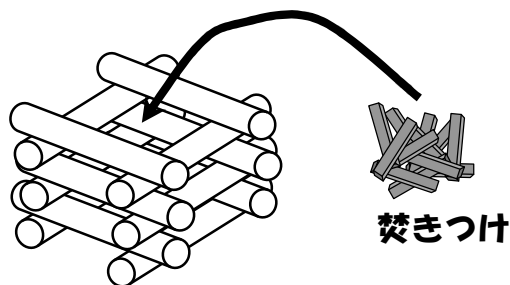
## 6 その他

- ・海岸は漁港管理事務所から使用許可をとり、使用している。「来たときよりも美しく」を合い言葉に、気持ちのよい活動を心がける。
- ・活動後は大変暗くなるため、落とし物や忘れ物、怪我のないよう注意する。

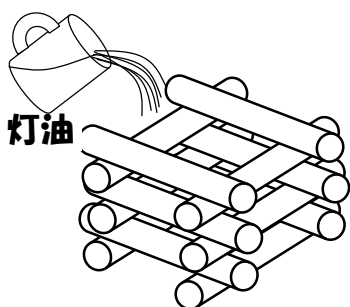
## キャンプファイヤーの手順と注意



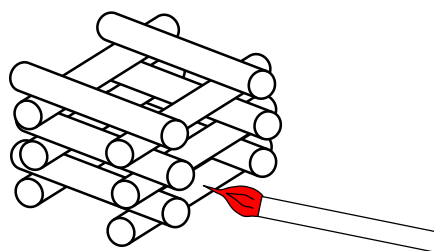
① 12本の薪を井形に組みます。



② こっばを下の方に置きます。



③ 灯油をまんべんなく、かけます。



④ 下から火をつけます。

◇ファイヤーキーパー（火の係）を必ず決めましょう。

火をつけると、灯油の勢いでバァーっと燃えますが、放置すると表面だけ燃えて終わってしまいます。

◇風向きを考えて、配置を決めましょう。

火の粉も多少飛びます。

◇薪は最後まで燃やしきってください。※使用した薪は返却できません。

キャンプファイヤーが終了しても薪が燃え尽きるまで必ず団体指導者1人以上は浜に残り、消火を見届けてください。

◇灰はスコップで穴を掘って埋めてください。

状況にもよりますが、約2時間ほどで燃え尽きます。

◇最後に水をたっぷりかけてください。

海岸は、許可を得て、使用しています。

**“来たときよりも美しく”** という気持ちを忘れないでください。



# キャンドルファイヤー

【活動可能人数：制限なし】

【活動時間（めやす）：1～2時間】

## 1 実施時期

通年可能

## 2 準備物

### ○本所が用意できる物

表1

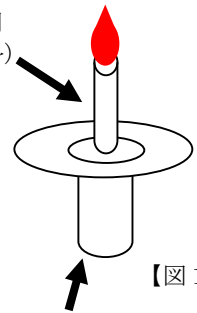
#### ◇無料で貸出し可

- ①衣装（火の神、火の巫女）
- ②神の杖
- ③ライター
- ④アンプ（CDデッキ）
- ⑤メインキャンドル台【写真1】
- ⑥シート
- ⑦燭台（大10本、小6本）【写真1】
- ⑧火の神用・個人用キャンドル台【図1】

#### ◇有料で提供できる物

- ⑨メインキャンドル（有料貸出し） 50円/本
  - ⑩個人用キャンドル（販売） 10円/本
- ※⑨⑩は団体で持参可

火の神用・個人用  
キャンドル（有料）



火の神用・個人用  
キャンドル台

## 3 事前準備

### (1) 活動場所

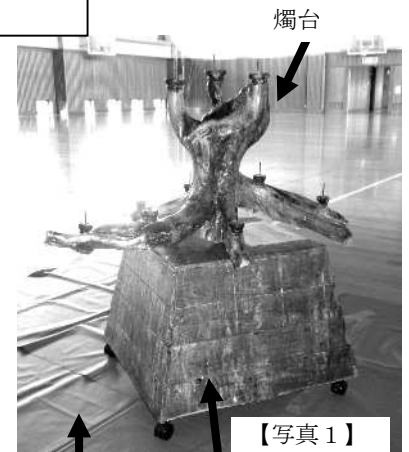
大体育室またはオリエンテーション室で行う。  
（活動場所は部屋割で決定する。）

### (2) 物品の貸出し

- ・事務室で①～④及び⑨⑩を受け取る。
- ・大体育室（山側・南側の器具室）にある物品⑤～⑧は団体で準備を行う。

### (3) 燭台・メインキャンドル台の設置

ロウが落ちるおそれのある部分（特にメインキャンドル周辺）には必ずシートを敷く。【写真1】



シート      メインキャンドル台

## 4 後片付けについて

- ・使用した物品は、元の場所（事務室または大体育室）に戻す。
- ・メインキャンドルは貸出し物品のため、事務室に返却する。
- ・個人用キャンドルは、持ち帰る。
- ・床に落ちたロウは、大体育室にあるへらで取り、たらいに捨てる。使用した場所の清掃を必ず行う。

## 5 翌朝の現場確認について

翌朝にも、必ず現場を確認する。忘れ物、後始末の様子を再度確認する。

## 6 その他

- ・大体育室の照明（水銀灯）は、消灯後の再点灯には10分程度の時間を要する。点灯、消灯、再点灯のタイミングには注意が必要である。
- ・「来たときよりも美しく」を合い言葉に、気持ちのよい活動を心がける。

## 展開例 (キャンプファイヤー・キャンドルファイヤー)

展 開	進 行	留 意 点
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係ミーティング</li> <li>・準備</li> <li>・リハーサル</li> </ul>	
第一部 点火のセレモニー (10～20分)		
参加者入場 開会の言葉 歌唱 火の神入場  火の神の言葉 誓いの言葉 点火  (分火)  歌唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左 (反時計) 回りに大きな円となるよう入場</li> <li>・司会による</li> <li>・「遠き山に日は落ちて」1番歌、2番ハミング</li> <li>・歌に合わせて火の巫女先導で火の神入場</li> </ul> <p>(火の神の言葉の例参照) (誓いの言葉の例参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火の守は片膝をついて、火の神より火をもらう。</li> <li>・司会の合図で火の守は井桁 (メインキャンドル) に点火する。</li> <li>・キャンドルファイヤーでは、ここで分火を行ってもよい。火の守が、グループメンバーに火を渡し、次々に個人キャンドルに分火していく。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「燃えろよ、燃えろ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私語を慎む。</li> <li>・輪の中を反時計回りに一周する。</li> <li>・キャンプファイヤーでは、井桁の下部に点火する。</li> <li>・キャンプファイヤーは分火を行わない。</li> <li>・火を見つめながら歌う。</li> </ul>
第二部 交流のつどい (40～60分)		
スタッツ ゲーム ダンスなど	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループのスタッツ (寸劇、歌など)</li> <li>・ゲーム</li> <li>・フォークダンス</li> </ul>	
第三部 消火のセレモニー (10分)		
歌唱 火の神の言葉 (分火)  詩の朗読 歌唱 火の神退場  閉会の言葉 退場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「一日の終わり」など</li> <li>・キャンドルファイヤーではここで分火を行ってもよい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当が詩を朗読 「今日の日はさようなら」2番からハミング</li> <li>・火の巫女は、歌の途中から残り火をトーチに移し、火の神に渡す。</li> <li>・キャンドルファイヤーでは個人キャンドル消火 (グループごと順次消す、火の神の退場にあわせて通過したら消していく、誕生月ごとに消す、一斉に消すなど) 消火後に火の神退場でもよい。</li> <li>・火の巫女を先頭に、神、守は円の中を一周して退場</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会による</li> <li>・全員無言で退場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心を静める。</li> <li>・キャンプファイヤーでは分火は行わない。</li> <li>・雰囲気合う詩を選んでおく。</li> <li>・キャンプファイヤーでは消火は行わない。</li> </ul>

- ・展開例は一例です。集団の年齢や構成、実態に応じて、様々な方法が考えられます。点火、分火、消火の方法についても、感動的な演出を考え、行ってみてください。
- ・キャンプファイヤー、キャンドルファイヤーの基本的な流れには差がありませんが、**キャンプファイヤーの終了時点では消火できません**。キャンプファイヤーの終了後も火がついていることを考えて計画してください。

## 火の神の言葉（例）

私は、この焼津の町の北「高草の山」に住む火の神である。今宵は皆のため、火を授けに降りてきた。

考えてほしい。人々は火を自由に扱えることによって、このように発展をとげてきたのだ。遙か昔、人々が火を手に入れるのにどんなに苦勞をしてきたか考えたことがあるだろうか。火の存在は、決して当たり前のことではないのだ。

私が授けるこの火によって『感謝の心』を思い起こしてほしい。その心が皆の豊かな心を育む。そして、その先にはすばらしい未来が待ち受けているだろう。

今宵が皆と、この地球のすばらしい未来のための第一歩であることを願っている。

※ 火が人間に与えてくれた恩恵を伝える。また、その火を手に入れるために人間のたゆまざる努力と勇気と、多くの人の協力があつたこと、その結果、人間が文明を手に入れたことを伝えたい。キャンプファイヤーでは、大きな火の持つ圧倒的な力、誤った使い方をすれば、脅威となる火の怖さも伝えたい。

## 誓い（分火）の言葉（例）

火の神「あなたたちに、私から火を分け与える。この火を消すことなく、大切に守り続けてほしい。」

火の神「あなたには『健康の火』を授ける。」

火の守①「私は『健康の火』をいただきました。私たちは体を大切にし、明るく生活することを誓います。」

火の神「あなたには『感謝の火』を授ける。」

火の守②「私は『感謝の火』をいただきました。私たちは常に感謝することを忘れずに生活することを誓います。」

火の神「あなたには『自立の火』を授ける。」

火の守③「私は『自立の火』をいただきました。私たちは自立の心を養い、前向きに努力することを誓います。」

全員で「わたしたちは、いただいた火をいつまでも、心の中に燃やし続けます。」

## 軽スポーツ一覧

団体からの希望があれば、下記のスポーツの道具を貸出しできる。

**準備、ルールの説明、指導、片付けは団体で行う。**

No.	スポーツ名	場所	内 容	用 具
1	マレットゴルフ	屋外	グラウンドゴルフ用のクラブを使い、松林にあるコースで行うゴルフです。【松林専用コース】	クラブ、ソフトボール、スコアシート
2	frisbeeゴルフ	屋外	マレットゴルフと同じコースでfrisbeeを使って行うゴルフです。【松林専用コース】	frisbee、スコアシート
3	ターゲットバードゴルフ	屋外	羽のついた専用のボールをクラブで打ち、傘の着いたホールに入れるゴルフです。	用具一式 クラブ、ボール
4	グラウンドゴルフ	屋外	専用のクラブとボールを用いて、ホールポストに入れるゴルフです。	用具一式 クラブ、ボール
5	ゲートボール	屋外	専用のスティックとボールを用いてゲートをくぐらせ、合計得点を競うゲームです。	用具一式 スコアシート
6	ペタンク	屋外	ビュットと呼ばれる標的の玉に向かって重い玉をできるだけ近くに投げて競うゲームです。	用具一式
7	タグラグビー	屋内 屋外	腰にタグと呼ばれるしっぽをつけ、タックルの代わりにしっぽをとって行うラグビーです。	ボール、タグ一式
8	インディアカ	屋内	羽のついた玉を手で打ち合う、バレーボールとバドミントンが組み合わさったようなゲームです。	コート、ネット 専用のボール
9	ユニホック	屋内	プラスチックのスティックとボールを使って行う室内ホッケーです。	スティック、ボール、ゴール
10	スポレック	屋内	プラスチックのラケットとスポンジボールで行う、ミニテニスです。	ラケット、ボール
11	ソフトバレーボール	屋内	専用の柔らかいボールで行うバレーボールです。	ネット、ボール
12	卓球	屋内	小体育室に、常設3台の卓球台があります。	卓球台、ラケット、ネット、ボール
13	バレーボール	屋内	大体育室に2面、設定可能です。	ネット、ボール
14	バスケットボール	屋内	大体育室に1面設定可能です。ゴールは6つあります。※ミニバスケット用ゴール2つ	ゴール、ボール
15	ドッジボール	屋内 屋外	大体育室、多目的広場で可能です。	ボール
16	ドッジビー	屋内 屋外	大体育室、多目的広場で可能です。	専用frisbee(6枚)
17	バドミントン	屋内	大体育室に3面、設定可能です。	ネット、ラケット、シャトルコック
18	綱引き	屋内	大体育室で可能です。	綱1本(30m)
19	長縄跳び	屋内 屋外	大体育室、多目的広場で可能です。	25m(30人)4本、 10m4本 屋外用2本
20	frisbeeストラックアウト	屋内 屋外	frisbeeを専用のボードに投げて、得点を競います。	専用ボード、frisbee

その他スポーツ用具

- ・ソフトボール(ボール、グローブ) ・トラックボール(専用ラケット、ボール) ・一輪車 ・竹馬 ・輪投げ
- ・フラフープ ・ソフトフォームボール ・バランスボール ・ボッチャ(ボールのみ、コート無し)

# 屋外活動を指導する方へ

屋外活動の計画から実施までに団体指導者が留意すべき点を以下にあげてあります。内容をよく読んで、指導時の参考にしてください。

## 計画時

- 下見の実施
  - 利用前日までに活動エリアの下見をお願いします。できれば複数の団体指導者で下見や活動の体験をお願いします。遠方などの理由で下見や体験ができない場合は、来所後、活動開始までに活動エリアの確認を必ず行っていただきます。
- 事前指導の実施
  - 活動のしかたや安全体制について、研修生への事前指導をお願いします。

## 活動前

- ◎ 入所者名簿（参加者名簿）を1部、事務室に提出してください。（入所時）
  - ※ しおりに掲載されている場合は、しおりをもってそれにかえることができます。
- ◎ 団体指導者は、活動前（午前8時35分または午後0時30分）に事務室前で実施判断を行います。実施判断時には、緊急時の指導者連絡先や配慮事項を「屋外活動実施予定表」（P53 資料2）に記入していただきます。
  - ※ 「屋外活動実施予定表」（P53 資料2）は、所員が用意します。
- 活動参加者に次のことを指導してください。
  - ① 交通安全
    - ・ 右側又は歩道がある側を1列で歩く。
    - ・ 地図を見ながら歩くのは危ないのでやめる。
  - ② 地震の際の対応
    - ・ 「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表された場合は、直ちに帰所または避難行動をとる。（焼津市の同報無線や広報車で連絡される）
    - ・ 緊急地震速報発表時や地震発生時には、まず倒れそうなものから離れ、落下物から身を守る。揺れがおさまったら津波を警戒するために、住民の方に尋ねて避難場所（津波避難ビル又は避難タワー）へ避難する。
  - ③ 活動時間の確認
    - ・ 「〇時〇分を過ぎたら」と活動打ち切りの時間を設定し、それを過ぎたら「青少年の家に帰る」「〇ポイントの〇先生の所に行く」「道に迷った時には青少年の家に電話をする」など、具体的な指示を与えてから出発させる。（書きとめさせる）
  - ④ 事故やけが、天候の急変など、非常時の対応
    - 避難・待機先、連絡先を活動参加者と確認してください。**
    - ※ 連絡内容→参加者氏名、現在位置、傷病の程度、成人の有無、周囲の状況**
    - ・ 事故や大きなけがの場合
      - 手分けをして、傷病者への対応、緊急連絡先や付近の民家や公共施設などに助けを求める。
    - ・ 急に強い雨が降ってきた場合
      - 川沿いを避け、土砂降りの場合は近くの公共施設や商店、民家に避難・待機する。
    - ・ 風が強く吹いてきた場合
      - 海に近づかない。歩行が困難な場合は近くの公共施設や商店、民家に避難・待機する。
    - ・ 雷鳴が聞こえる場合
      - 稲光が間近に見える場合、近くの公共施設や商店、民家に避難・待機する。



- 活動を続けられないようなけがや事故が起きた場合は、すぐに「青少年の家」または「団体で決めた連絡先」に電話するよう指導してください。
- 団体指導者は、緊急時の対応（指揮系統）について確認してください。それぞれ**携帯電話などの通信手段を携行してください。**

## 活動中

### ◎ 事故、体調不良やけがで緊急対応が必要な場合、青少年の家に一報！

- 天候の急変により活動の継続が難しい場合
  - ① 中止の判断を青少年の家及び活動参加者に伝える。
  - ② 本部を定め、参加者名簿（しおり）に基づいて所在の確認をする。
  - ③ 指導者ごとに役割を決定、必要に応じて団体持参または青少年の家の自動車に対応する。
  - ④ 活動参加者全員の帰着を確認し、青少年の家に帰着完了の連絡をする。
- 「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表された時の対応
  - ① 直ちに活動を中止し、状況により帰所または避難行動を活動参加者にとらせる。
  - ② 活動参加者全員の人員確認を行い、青少年の家と連絡をとりながら安全確保に努める。
- 緊急地震速報発表時、地震発生時の対応
  - ① 頭と体を守るなど安全を確保する。
  - ② 津波が予想されるので、揺れがおさまったら速やかに最寄りの津波避難ビルまたは避難タワーに避難し、安全が確認できたら帰所する。
- 津波警報発表時の対応
  - ① 津波避難ビル又は避難タワーへ避難する。
  - ② 避難時間が十分確保できることが確認できたら帰所する。
- 津波注意報発表時の対応
  - ① 原則、津波警報発表時に準ずるが、津波の到達予想時刻や高さから活動の継続、エリアを縮小しての活動継続を所員の情報提供をもとに団体責任者が判断する。

活動エリア内の津波避難ビルまたは避難タワーについては、各プログラムの地図又は焼津市ホームページなどを参考とすること。



津波避難ビル・タワーを示すマーク

### ○ 次のような、天候が急変しそうな兆候に気付いたら

危険 信号	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。</li> <li>★ 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。</li> <li>★ ヒヤッとした冷たい風が吹く。</li> <li>★ 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。</li> </ul>
----------	---

- ※ 焼津青少年の家（Tel 054-624-4675）に連絡し、今後の気象状況についての情報を入手する。
- ※ 注意報発表中の活動についても、こまめに情報を収集する。
  - ・ 早めの避難・待機を呼びかける。
  - ・ 避難、待機の現状について状況を把握する。



国土交通省防災情報提供センター  
[www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/](http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/)

## 活動後

- ◎ 活動終了時は、事務室に連絡をお願いします。
- 活動終了時には、必ず人員点呼と健康観察を行う。

# 屋外活動実施予定表

月 日 ( ) 午前 ・ 午後 ・ 夜

団体名			
実施予定の活動（該当するものに○印）			
1 サイクリング	2 大漁ハイク	3 ウォークラリー	4 宝探し
5 チャレンジラリー	6 海釣り	7 キャンプファイヤー	8 軽スポーツ
○気象についての情報提供確認欄			
①警報の発令（有 ・ 無）			
②注意報の発令（有 ・ 無）			
警報・ 注意報の 内容			
③降雨予想【20mm/h】：（以上 ・ 未満） ※ サイクリングは1mm/h、海釣りは3mm/h			
④風の状況【平均風速10m/s】：（以上 ・ 未満） ※ 海釣り、キャンプファイヤーは6m/s			
⑤その他の状況（ ）			
○活動実施の可否および実施の条件、留意点等			
○安全体制チェックリスト			
<input type="checkbox"/> 活動エリアの下見または実施前点検		<input type="checkbox"/> 団体指導者間の通信手段の確保	
<input type="checkbox"/> 参加者名簿の提出と携行		<input type="checkbox"/> 団体指導者の災害への対応確認	
<input type="checkbox"/> 交通安全指導		<input type="checkbox"/> 緊急避難ほか安全面の事前指導	
<input type="checkbox"/> 活動前中後の人員点呼の方法		<input type="checkbox"/> 活動参加者への緊急時の連絡方法指示	
団体指導者 連絡先	氏名	携 帯 電 話 番 号	活動中の所在
配慮事項等			
		所員氏名	



## 静岡県立焼津青少年の家

〒425-0041 静岡県焼津市石津 2259-408

E-mail TEL (054) 624-4675 FAX (054) 623-0768

YCC-yaizu01@pref.shizuoka.lg.jp

HP <https://yaisei.jp/>



本所 HP